

令和2年度  
事業報告書

《事業報告及び事業報告の附属明細書》

社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会

# 目 次

<b>I 会議等</b>	1
1 理事会	1
2 評議員会	2
3 地域福祉活動計画推進委員会	3
4 内部管理体制の基本方針の運用	4

## II 地域福祉部門

### 1 重点事業

重点事業	6
------	---

### 2 実施事業 ～地域福祉活動実施計画に記載している取組項目～

#### 施策の方向性1 福祉に関する市民の関心を高め、福祉のまちづくりへの理解を促進する

活動計画取組項目1	市民向けのセミナーの実施	7
活動計画取組項目2	成年後見制度の普及・啓発	7
活動計画取組項目3	ボランティア・市民活動へのきっかけづくり	8
活動計画取組項目4	ボランティア活動推進協力校への支援	8
活動計画取組項目5	福祉教育の促進	9
活動計画取組項目6	福祉の体験学習機会の提供	10
活動計画取組項目7	大学と地域の連携の促進	10

#### 施策の方向性2 住民が共にたすけあい、支えあう活動を促進する

活動計画取組項目8	見守り活動の促進	11
活動計画取組項目9	地域支えあい活動の促進	11
活動計画取組項目10	ふれあい・いきいきサロンの促進	11
活動計画取組項目11	ふれあい・子育てサロンの促進	12
活動計画取組項目12	ふれあい・散歩クラブの促進	12
活動計画取組項目13	ふれあい食事サービス事業への支援	13
活動計画取組項目14	地区部会活動従事者に対する研修の実施	14
活動計画取組項目15	民生委員・児童委員に対する研修の実施	16
活動計画取組項目16	ボランティア活動をする人材の養成	17
活動計画取組項目17	子どもの居場所づくりに取り組んでいる団体との関係づくり	18

#### 施策の方向性3 社会福祉法人や企業による地域における公益的な取組みを促進する

活動計画取組項目18	社会福祉法人の地域における公益的な取組みの相談・支援	19
活動計画取組項目19	企業の社会貢献活動への相談・支援	19

施策の方向性4 生活課題の解決に向けて、関係者間の連絡調整の役割を担うとともに、  
一部の生活支援については自ら実施する

活動計画取組項目20	地域ケア会議の立ち上げ支援	20
活動計画取組項目21	本会の相談窓口の充実	20
活動計画取組項目22	コミュニティソーシャルワーカーを中心とした生活支援の展開	21
活動計画取組項目23	本会が担う生活支援の推進	22

施策の方向性5 災害対応力の向上を図る

活動計画取組項目24	災害ボランティアセンター設置・運営に向けた体制整備	24
------------	---------------------------	----

### 3 実施事業 ～地域福祉活動実施計画外の主だった事業～

指定管理の研修	25
指定管理以外の研修	26
会長表彰	27
社協だよりの発行	27
地域ふくし力アップ助成金の活用等による地域の仕組みづくりの推進	27
会員募集	28
広報紙(地区部会だよりの発行	28
地区部会ボランティア講座	29
ボランティア基金事業	29
地区部会新型コロナウイルス感染予防対策事業	29
車椅子貸与事業	29
保育士修学資金等貸付事業	30
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	30
施設団体等助成事業	31
社会福祉事業振興資金貸付事業	31
交通遺児援護事業	31
心身障害児福祉事業	31
緊急一時的な食糧支援事業	31
放課後児童健全育成事業	32
権利擁護支援に係る地域連携ネットワークの強化	32
福祉関係団体事務局の運営による地域福祉の推進	32
千葉市子どもナビゲーター事業	33
千葉市生活支援コーディネーター設置業務の実施	33

### Ⅲ 施設福祉部門

#### 1 概況

概況	34
----	----

#### 2 施設別事業

(1) 施設福祉総務課	34
(2) パラスポーツコンシェルジュ	36
(3) 千葉市桜木園	39
(4) 和陽園	42
(5) 千葉市療育センター	48
① 療育相談所	48
② すぎのこルーム	51
③ やまびこルーム	53
④ いずみの家	55
⑤ ふれあいの家	57
⑥ 発達障害者支援センター	64
⑦ 相談支援事業所ぱれっと	68
(6) 千葉市大宮学園	71
① ひまわりルーム	71
② たけのこルーム	73
(7) 千葉市障害者福祉センター	76
(8) 千葉市中央・花見川・稲毛・若葉・緑・美浜いきいきプラザ、千葉市蘇我・花見川 さつきが丘・あやめ台・大宮・都賀・越智・土気・真砂いきいきセンター及びおゆみ野 ふれあい館	79
(9) 千葉市中央・花見川・美浜いきいきプラザ内デイサービスセンター	94
関連資料【組織図】	98

※本事業報告書は、本会定款第40条第1号及び第2号に規定する事業報告及び事業報告の附属明細書を原則、実施事業の取組項目ごとに併記して作成しています。

# I 会議等

## 1 理事会

### 第1回（決議の省略）

理事会の決議があったとみなされた日 令和2年4月1日（水）

議案第1号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会長の選定

### 第2回（決議の省略）

理事会の決議があったとみなされた日 令和2年6月12日（金）

議案第2号 平成31年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第3号 平成31年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告

議案第4号 平成31年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決算

議案第5号 平成31年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会（旧千葉市社会福祉事業団分）事業報告

議案第6号 平成31年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会（旧千葉市社会福祉事業団分）決算

議案第7号 旧社会福祉法人千葉市社会福祉事業団の令和2年度事業計画及び資金収支予算の統合（追加）

議案第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会副会長の選定

議案第9号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事候補者の選任

議案第10号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事候補者の選任

議案第11号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者の選任

議案第12号 令和2年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第13号 令和2年会計年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会計監査人の報酬

議案第14号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会表彰規程の一部改正

議案第15号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正

議案第16号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会指定管理者個人情報保護規程の一部改正

議案第17号 令和2年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定時評議員会の開催

報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

報告第2号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の平成31年度報告

報告第3号 新法人の新たな基盤強化方針（経営改善計画）

報告第4号 重要な契約結果

### 第3回 令和2年12月2日（水）

議案第18号 令和2年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第19号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決裁規程の一部改正

議案第20号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並びに旅費に関する規程の一部改正

議案第21号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正

議案第22号 令和2年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第2回評議員会の招集  
以上、原案のとおり議決しました。

報告第 5 号 停止条件付き社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する  
規程の一部改正

報告第 6 号 会長及び常務理事の職務執行状況報告【再掲（第 2 回理事会 決議の  
省略）】

報告第 7 号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

#### 第 4 回（決議の省略）

理事会の決議があったとみなされた日 令和 3 年 3 月 17 日（水）

議案第 2 3 号 令和 2 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第 2 4 号 千葉市社会福祉協議会基盤強化方針及び経営改善計画の延伸

議案第 2 5 号 千葉市社会福祉協議会第 3 次地域福祉活動実施計画の延伸

議案第 2 6 号 令和 3 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画

議案第 2 7 号 令和 3 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算

議案第 2 8 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務局組織の一部改正

議案第 2 9 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正

議案第 3 0 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決裁規程の一部改正

議案第 3 1 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会文書取扱規程の一部改正

議案第 3 2 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会法人印規程の一部改正

議案第 3 3 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会出向規程の一部改正

議案第 3 4 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会経理規程の一部改正

議案第 3 5 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会特定個人情報取扱規程の一部改正

議案第 3 6 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会施設管理規程の一部改正

議案第 3 7 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正

議案第 3 8 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会施設長等の選任及び解任

議案第 3 9 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事候補者の選任

議案第 4 0 号 令和 3 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等賠償責任保険  
契約締結

議案第 4 1 号 権利の放棄

議案第 4 2 号 令和 2 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第 3 回評議員会の開催

## 2 評議員会

#### 第 1 回（決議の省略）

評議員会の決議があったとみなされた日 令和 2 年 6 月 27 日（土）

議案第 1 号 平成 3 1 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第 2 号 旧社会福祉法人千葉市社会福祉事業団の令和 2 年度事業計画及び資金  
収支予算の統合（追加）

議案第 3 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の選任

議案第 4 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の選任

議案第 5 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

議案第 6 号 令和 2 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

- 報告第 1 号 会長及び常務理事の職務執行状況報告
- 報告第 2 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会副会長の選定
- 報告第 3 号 平成 3 1 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告及び決算
- 報告第 4 号 平成 3 1 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会（旧千葉市社会福祉事業団分）事業報告及び決算
- 報告第 5 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の平成 3 1 年度報告
- 報告第 6 号 新法人の新たな基盤強化方針（経営改善計画）

## 第 2 回 令和 2 年 12 月 14 日（月）

- 議案第 7 号 令和 2 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第 8 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並びに旅費に関する規程の一部改正  
以上、原案のとおり議決しました。

- 報告第 7 号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

## 第 3 回（決議の省略）

評議員会の決議があったとみなされた日 令和 3 年 3 月 25 日（木）

- 議案第 9 号 令和 2 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第 1 0 号 千葉市社会福祉協議会基盤強化方針及び経営改善計画の延伸
- 議案第 1 1 号 千葉市社会福祉協議会第 3 次地域福祉活動実施計画の延伸
- 議案第 1 2 号 令和 3 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画
- 議案第 1 3 号 令和 3 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算
- 議案第 1 4 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の選任
- 議案第 1 5 号 権利の放棄

- 報告第 8 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針及び経営改善計画の令和 2 年度第 3 四半期報告
- 報告第 9 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第 3 次地域福祉活動実施計画の令和 2 年度進捗報告

## 3 地域福祉活動計画推進委員会

### 第 1 回 令和 2 年 5 月 26 日（火） ※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

### 第 2 回 令和 2 年 11 月 10 日（火）

- 議題（1）委員長・副委員長の選任について
- 議題（2）次期地域福祉活動計画の策定スケジュール見直しについて
- 議題（3）第 3 次地域福祉活動実施計画の令和 2 年度上期進捗状況及び今後の見通しについて

### 第 3 回 令和 3 年 3 月 5 日（金）

- 議題（1）第 3 次地域福祉活動実施計画 令和 3 年度目標値について
- 議題（2）次期地域福祉活動計画（令和 4 年度～8 年度）の策定方針等について

#### 4 内部管理体制の基本方針の運用

内部管理体制の基本方針に基づく取組みのうち、主なものを下記に示します。

##### (1) 経営に関する管理体制

法令、定款等に従い、理事会（4回）及び評議員会（3回）を開催し、コロナ禍における生活福祉資金貸付事業特例貸付対応など、事務事業執行状況を適宜報告し、理事及び職員等の職務執行の適正性を確保しました。

また、業務の効率化、効率的な経営の実現のため、業務執行機関からの独立性を有する監査部門の会計監査人により、本会が作成する計算書類等の適正性について、監査を行いました。

##### (2) リスク管理に関する体制

管理職定例会議である事務局会議において、情報セキュリティ管理規程及び個人情報保護に関する諸規程に基づき、情報セキュリティに関する注意喚起を実施するとともに、合併後の法人における個人情報保護のセキュリティの確保、事業運営の効率化を目的とした情報セキュリティ対策に向けた簡易診断を実施しました。その他、ホームページプラザに勤務する職員全体の防災訓練を2回実施しました。

##### (3) コンプライアンスに関する体制

内部監査の取扱いについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う生活福祉資金貸付事業特例貸付相談・申請業務の著しい増加や施設間の感染予防等により、必要な監査時間や監査人の確保が困難となったため、注意喚起を図る通知を発出し、各所管において適正な業務の確保に務めました。

##### (4) 監査環境の整備

監事監査規程に基づき、理事の職務の執行について令和2年6月3日に監事が監査を行い、第1回理事会、定時評議員会にて報告しました。

## II 地域福祉部門

### ■ 重点事業

令和2年度事業計画の重点事業

### ■ 実施事業

令和2年度事業を「第3次地域福祉活動実施計画(平成30年度～令和3年度)」の取組項目に沿ってまとめています。

### 【 記載内容の表記 】

<p>施策の方向性1 福祉に関する市民の関心を高め、福祉のまちづくりへの理解を促進する</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">活動計画における施策の方向性</p>			
<p style="text-align: center;">&lt;活動計画取組項目3&gt;</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">活動計画の取組項目番号</p>			
活動計画における取組項目		担当部署	
↓		↓	
○ ボランティア・市民活動へのきっかけづくり		【地域福祉ボランティアセンター】	
(市補・共募・会費)	<u>2,399</u> 千円	[ <u>2,399</u> 千円 ]	<u>2,739</u> 千円
↑	↑	↑	↑
財源※	令和2年度決算	平成31年度決算	令和2年度当初予算
<p>※財源の表記例 会費：社協会費 共募：共同募金配分金 市補：市補助金 V基：ボランティア基金</p>			

## 1 重点事業

本会の基盤強化方針（平成29年度～令和3年度）に基づき、法人の継続性・安定性を確保するとともに、事業効果の向上と活動の可視化を図りました。また、「第3次地域福祉活動実施計画（平成30年度～令和3年度）」に基づき、令和2年度も以下の重点取組項目等により、「つなぐ・つながる・ひろめる」地域づくりに積極的に取り組みました。今年度の「災害ボランティアセンター設置・運営に向けた体制整備」については、施設福祉部門の職員を中心とした訓練を実施しました。その他、新型コロナウイルス感染症の感染拡大回避のために多くの取組みを延期や中止としました。

### 1 見守り活動の促進 P.10

地域住民の共助による日常的な見守りや安否確認等が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けた支援を行いました。

### 2 地域支えあい活動の促進 P.10

地域住民の共助による生活支援等の助けあい活動が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けた支援を行いました。

### 3 ふれあい・いきいきサロンの促進 P.10

高齢者が生きがいを持って、いきいきと暮らしていけるよう、地区部会が実施するサロン活動を支援しました。

### 4 社会福祉法人の地域における公益的な取組みの相談・支援 P.18

地域における公益的な取組みが広がるよう、社会福祉法人を支援しました。

### 5 コミュニティソーシャルワーカーを中心とした生活支援の展開 P.20

コミュニティソーシャルワーカーが中心となり、支援の手が届かない制度の狭間にいる人たちに寄り添いながら、様々な関係団体・機関とのネットワークを構築、活用し、困りごとの解決に向けた支援を行いました。

### 6 災害ボランティアセンター設置・運営に向けた体制整備 P.23

災害ボランティアセンターで本会職員とともに活動できるボランティアを養成し、発災時には速やかに災害ボランティアセンターを設置・運営できるよう体制整備を行うとともに、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

## 2 実施事業～地域福祉活動実施計画に記載している取組項目～

### 施策の方向性 1

福祉に関する市民の関心を高め、福祉のまちづくりへの理解を促進する

<活動計画取組項目 1 >

○ 市民向けセミナーの実施【企画調整課】

(決算額は P.30 指定管理の研修に含む)

市民がいきいきと安心して地域で暮らせるよう健康や介護などをテーマとした市民向けセミナーを開催しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、8講座の開催を中止しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
研修数	20 研修	24 研修	28 研修
受講者数	330 人	723 人	770 人

<活動計画取組項目 2 >

○ 成年後見制度の普及・啓発【成年後見支援センター】

(受託金) 428 千円[ 98 千円] **386 千円**

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守る成年後見制度の普及・啓発を図るため、ホームページによる情報提供、パンフレットの配架に加え、各種専門職団体等と連携した講習会の開催や、出前講座に出向きました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、講習会等を一部中止しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
ホームページによる情報提供	常時	常時	常時
パンフレットの配架	常時	常時	常時
講習会等の開催	6 回	9 回	6 回
出前講座の実施	8 回	36 回	24 回

<活動計画取組項目 3 >

○ ボランティア・市民活動へのきっかけづくり【地域福祉ボランティアセンター】

(市補・共募・会費) **2,355 千円**[ 2,399 千円] **2,739 千円**

ボランティア活動を希望する人が活動のきっかけをつかみ、いきいきと活動を続けられるよう、ボランティア側、受入側双方に対して情報提供・啓発を行いました。また、ボランティア活動希望者や受入施設を対象にした講座の開催や、公民館のサークルなどを対象とした講座の開催にも取り組みました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、開催予定の講座を一部中止しました。

(ボランティア入門講座)

区 分	R2	H31	R2 目標値
講座実施回数	21 回	27 回	33 回
参加人数	291 人	506 人	810 人

(ボランティアセンターのお知らせ、ぼら☆とぴ)

区 分	R2	H31	R2 目標値
発行部数	各 1,100 部	各 1,100 部	各 1,100 部
発行回数	年 8 回	年 8 回	年 8 回

(ペットボトルキャップの収集・リサイクル活動)

区 分	R2	H31
収集重量	25,459 kg	24,899 kg
キャップ数	10,947,714 個	10,706,570 個
ポリオワクチン	2,546 人分	2,489 人分

(ボランティア登録状況)

区 分		R2	H31
総登録者数		6,870 人	8,477 人
内 訳	個人	1,981 人	2,981 人
	グループ	4,889 人 (204 グループ)	5,496 人 (209 グループ)

※年度末時点

<活動計画取組項目 4 >

○ ボランティア活動推進協力校への支援【地域福祉ボランティアセンター】

(市補・共募) **815 千円**[ 1,098 千円] **881 千円**

毎年、市立小・中学校 6 校を 3 年間、ボランティア活動推進協力校として指定し、企画・提案や助成金を通じて、学校が行う福祉教育を支援しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
推進協力校数(新規)	6 校	6 校	6 校
推進協力校数(継続)	12 校	11 校	12 校

<活動計画取組項目 5 >

○ 福祉教育の促進

【地域福祉ボランティアセンター】

(市補・共募) 1,999 千円[ 4,609 千円] **2,264 千円**

学校における福祉教育が円滑に促進されるよう、学校教員に対し情報紙や冊子を配付するとともに福祉教育に関する講座を開催しました。また、小・中学校の児童・生徒に情報紙や冊子を配付し、福祉のこころを醸成するため、福祉教育を支援しました。

また、新たに中学生向け福祉冊子「やさしい社会をつくる」を作成し、市内の中学2年生に配付しました。

(福祉教育ニュース) 対象：市内の小・中学校教員(国立、県立、私立除く)

区 分	R2	H31	R2 目標値
発行部数	各 6,000 部	各 6,000 部	各 6,500 部
発行回数	年 2 回	年 2 回	年 2 回

(わたしもぼくもボランティア) 対象：小学4年生から中学3年生の児童・生徒

区 分	R2	H31	R2 目標値
発行部数	51,000 部	51,000 部	51,000 部
発行回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(やさしい気持ち)

対象：小学4年生の児童

区 分	R2	H31	R2 目標値
発行部数	9,000 部	10,000 部	9,000 部
発行回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(やさしい社会をつくる)

対象：中学2年生の生徒<<新規>>

区 分	R2	H31	R2 目標値
発行部数	10,500 部	—	10,500 部
発行回数	年 1 回	—	年 1 回

(福祉教育講座)

対象：市内の小・中学校教員

区 分	R2	H31	R2 目標値
講座実施回数	—	年 1 回	年 1 回
参加人数	—	9 人	40 人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

【企画調整課】

社会福祉士養成課程における、相談援助実習プログラムの充実を図り、実習生を受け入れ、各部署において社会福祉士として、必要な知識及び援助技術を習得するための実習指導を行いました。

(社会福祉士養成課程援助実習の実習生の受け入れ)

区 分	R2	H31	R2 目標値
受入数	3 人	8 人	9 人

<活動計画取組項目 6 >

○ 福祉の体験学習機会の提供【地域福祉ボランティアセンター】

(市補・共募・V基) 1,453 千円[ 2,304 千円] 1,045 千円

実践できるメニューを提供し、学校等における福祉体験の要請に応えました。また、福祉体験用具の貸し出し、講師派遣（ふれあいトーク）、本会職員による体験講座等を市内の小・中学校で活用してもらえるよう目指すとともに、学校や地域等に対し情報発信を行いました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
福祉用具貸出校数	43 校	67 校	86 校
ふれあいトーク実施校数			
職員派遣学校数			

※上表区分のうち、1つ以上実施した学校数

<活動計画取組項目 7 >

○ 大学と地域の連携の促進【地域福祉ボランティアセンター】

敬愛大学（※ちば産学官連携プラットフォーム生涯学習連携事業部会幹事校）と連携し、大学生のための災害ボランティア入門講座を開催しました。

また、千葉大学・敬愛大学・千葉経済大学と地域活動への参加や団体間のつながりを目的とした意見交換会を開催しました。

※ちば産学官連携プラットフォームとは、地域に所在する大学・短期大学が連携するとともに、千葉市や千葉市内の産業界と連携、協働、共創することにより、地域の高等教育の魅力を高めるとともに、地域づくりや地域経済の発展に参画することで、人々の幸せに寄り添い、共に発展していくことを目的とする。（植草学園大学・植草学園短期大学・神田外語大学・敬愛大学・千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部・淑徳大学・千葉明德短期大学・東都大学・放送大学・帝京平成大学(市原市)が参画)

区 分	R2	H31	R2 目標値
連携事業実施校	1 校増	2 校増	1 校増

## 施策の方向性 2

### 住民が共にたすけあい、支えあう活動を促進する

#### <活動計画取組項目 8 >

##### ○ 見守り活動の促進 **重点取組項目**【地域福祉ボランティアセンター】

(共募) **1,165 千円**[ 1,323 千円] **1,625 千円**

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等により、安心して地域で暮らせるよう見守り活動の仕組みづくりを支援するとともに、活動を実施する地区部会（町内自治会）に助成しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
地区部会数	31 地区部会 (240 町内自治会)	34 地区部会 (271 町内自治会)	45 地区部会 (325 町内自治会)

#### <活動計画取組項目 9 >

##### ○ 地域支えあい活動の促進 **重点取組項目**【地域福祉ボランティアセンター】

掃除や買い物などの生活行為の一部が困難な方等のために、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりを区事務所から地域の各種団体・機関へ働きかけるとともに、積極的に新規立上げや活動の継続に向けた支援を行い、新たに 1 地区部会で活動が実施されました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
地区部会数	25 地区部会	24 地区部会	34 地区部会

#### <活動計画取組項目 10 >

##### ○ ふれあい・いきいきサロンの促進 **重点取組項目**【地域福祉ボランティアセンター】

(市補・会費・共募) **1,505 千円**[ 5,555 千円] **7,136 千円**

地域の中に高齢者同士の語らいの場を設け、閉じこもり防止や寝たきり、認知症の予防を行うとともに、高齢者の仲間づくりを図ることを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、地区部会に対し、4月から6月まで活動中止を要請し、7月以降、コロナ対策を講じ、可能な範囲での活動再開を依頼しました。

なお、10月からは感染予防のため、対象人数を減らし、小規模で開催したサロンにも助成できるように助成金交付基準を緩和しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
R2	61 回 (6 地区)	429 回 (8 地区)	194 回 (8 地区)	99 回 (8 地区)	143 回 (3 地区)	77 回 (5 地区)	1,003 回 (38 地区)
H31	376 回 (14 地区)	1,282 回 (12 地区)	864 回 (12 地区)	351 回 (13 地区)	370 回 (4 地区)	460 回 (8 地区)	3,703 回 (63 地区)
R2 目標値	562 回 (17 地区)	1,535 回 (13 地区)	1,046 回 (12 地区)	502 回 (14 地区)	566 回 (4 地区)	546 回 (8 地区)	4,757 回 (68 地区)

<活動計画取組項目 1 1 >

○ ふれあい・子育てサロンの促進【地域福祉ボランティアセンター】

(市補・会費・共募) 138 千円[ 914 千円] **1,160 千円**

子育て中の親子が自由に集い、地域ボランティアとともに交流を通して、仲間づくりを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、地区部会に対し、4月から6月まで活動中止を要請し、7月以降、コロナ対策を講じ、可能な範囲での活動再開を依頼しました。

なお、10月からは感染予防のため、対象人数を減らし、小規模で開催したサロンにも助成できるように助成金交付基準を緩和しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
R2	35回 (6地区)	17回 (5地区)	4回 (2地区)	13回 (3地区)	1回 (1地区)	22回 (3地区)	92回 (20地区)
H31	191回 (16地区)	117回 (9地区)	101回 (11地区)	78回 (9地区)	44回 (3地区)	78回 (6地区)	609回 (54地区)
R2 目標値	217回 (16地区)	137回 (9地区)	142回 (12地区)	134回 (10地区)	55回 (3地区)	88回 (6地区)	773回 (56地区)

<活動計画取組項目 1 2 >

○ ふれあい・散歩クラブの促進【地域福祉ボランティアセンター】

(市補・会費・共募) 255 千円[ 482 千円] **650 千円**

高齢者とボランティアによる散歩を通して、閉じこもりの防止や健康保持を目的とした活動を実施する地区部会を支援しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、地区部会に対し、4月から6月まで活動中止を要請し、7月以降、コロナ対策を講じ、可能な範囲での活動再開を依頼しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
R2	46回 (4地区)	59回 (3地区)	64回 (5地区)	9回 (2地区)	40回 (2地区)	37回 (3地区)	255回 (19地区)
H31	77回 (8地区)	138回 (6地区)	95回 (5地区)	41回 (5地区)	55回 (2地区)	76回 (3地区)	482回 (29地区)
R2 目標値	97回 (7地区)	199回 (6地区)	130回 (6地区)	69回 (8地区)	67回 (2地区)	88回 (3地区)	650回 (32地区)

<活動計画取組項目 1 3 >

○ ふれあい食事サービス事業への支援【地域福祉ボランティアセンター】

(会費・共募) 117 千円[ 3,632 千円] **3,994 千円**

一人暮らし高齢者等を対象に心身の健康保持と社会参加を目的とし、ボランティアや福祉施設等の協力を得て、定期実施型・行事实施型・施設利用型の3形態で行われる会食会や配食を実施する地区部会を支援する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、地区部会に対し、4月から6月まで活動中止を要請し、10月以降の会食形式での活動自粛を要請しました。

	区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
定期実施型	R2	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)
	H31	1,215食 (2地区)	303食 (1地区)	1,382食 (5地区)	110食 (1地区)	1,022食 (3地区)	1,461食 (2地区)	5,493食 (14地区)
	R2 目標値	1,526食 (2地区)	289食 (1地区)	1,777食 (5地区)	162食 (1地区)	1,530食 (3地区)	1,786食 (2地区)	7,070食 (14地区)
行事实施型	R2	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)	0食 (0地区)
	H31	394食 (3地区)	1,115食 (9地区)	15食 (1地区)	70食 (1地区)	—	210食 (2地区)	1,804食 (16地区)
	R2 目標値	511食 (5地区)	1,201食 (9地区)	35食 (1地区)	182食 (3地区)	—	233食 (2地区)	2,162食 (20地区)
施設利用型	R2	—	0食 (0地区)	—	0食 (0地区)	—	191食 (1地区)	191食 (1地区)
	H31	—	747食 (2地区)	—	383食 (1地区)	—	1,529食 (3地区)	2,659食 (6地区)
	R2 目標値	—	958食 (2地区)	—	419食 (1地区)	—	1,966食 (3地区)	3,343食 (6地区)
合計	R2	0食	0食	0食	0食	0食	191食	191食
	H31	1,609食	2,165食	1,397食	563食	1,022食	3,200食	9,956食
	R2 目標値	2,037食	2,448食	1,812食	763食	1,530食	3,985食	12,575食

<活動計画取組項目 1 4 >

○ 地区部会活動従事者に対する研修の実施【地域福祉ボランティアセンター】

(会費・共募) 371 千円[ 104 千円] **479 千円**

地区部会活動従事者を対象に、地域の福祉課題の発見・把握・課題解決につながるための知識や情報を習得してもらうための研修会を年4回開催しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
開催数	4 回	4 回	4 回
参加者数	69 人	304 人	—

<研修内容（第1回～第3回：地域福祉ボランティアセンター主催）>

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
第1回	令和2年8月 書面開催	—	「ふれあい食事サービス事業従事者 衛生研修」	千葉県保健所食品安全課
第2回	令和2年11月25日(水) 千葉県ハーモニープラザ ハーモニーホール	44人	「感染症予防について」	千葉県保健福祉局 環境健康研究所 所長 大塚 正毅 氏
第3回	令和2年12月 書面開催	—	「住民が共にたすけあい 支え合うまちづくり」	順天堂大 学スポーツ健康科学部 准教授 松山 毅 氏

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、第1回と第3回は書面開催としました。

< 研修内容（第4回：各区事務所主催） >

区	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
中央区	令和3年3月	—	「ウイルスによっておこる病気と検査の話」	千葉市環境保健研究所 健康科学課 課長 横井 一 氏
	書面開催			
花見川区	令和3年3月	—	「正しく知って、正しく防ぐ、新型コロナウイルス感染症」 ～感染拡大を予防する新しい生活様式～	千葉市花見川区健康課 課長 大場 有功 氏
	書面開催			
稲毛区	令和3年3月	—	「高齢者の健康維持」	厚労省・スポーツ庁資料
	書面開催			
若葉区	<b>【延期】</b> 令和3年3月17日(水)	—	「スマホ de ライン講座 ～コロナ下でも皆でつながりましょう！～」	ドコモショップ都賀店
	若葉保健福祉センター 大会議室			
緑区	令和3年3月25日(木)	14人	「イオンの防災 取組の紹介・災害への備えの紹介」	イオン株式会社 総務部 BCM グループマネージャー 早川 雅朗 氏
	緑保健福祉センター 大会議室			
美浜区	令和3年3月19日(金)	11人	「元気で長生きするために」～介護予防、フレイル予防について	東都大学 幕張ヒューマンケア学部 理学療法学科 中村 睦美 氏
	美浜保健福祉センター 大会議室			

年4回開催する地区部会活動従事者研修会のうち1回を各区で開催し、各区の地域課題や実情等にあわせ、実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、中央区・花見川区・稲毛区においては書面開催、若葉区は次年度に延期しました。

<活動計画取組項目 1 5 >

○ 民生委員・児童委員に対する研修の実施【企画調整課】

- ・主任児童委員研修 (決算額は P.30 指定管理の研修に含む)

主任児童委員を対象に、必要な知識の習得を促し、活動を円滑にするための研修を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、講座の開催を中止しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
研修数	中止	1 研修	1 研修
受講者数	0 人	126 人	140 人

- ・地区民生委員児童委員協議会会長・副会長研修【生活支援課】

(受託金) 一千円[ 222 千円] **259 千円**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、開催を中止しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
研修数	中止	1 研修	1 研修
受講者数	0 人	219 人	249 人

- ・千葉市民生委員児童委員全体研修会【生活支援課】

(受託金) 32 千円[ 141 千円] **549 千円**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、開催を中止しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
研修数	中止	1 研修	1 研修
受講者数	0 人	1,180 人	1,520 人

<活動計画取組項目16>

○ ボランティア活動をする人材の養成【地域福祉ボランティアセンター】

(市補・会費) 229 千円 [ 467 千円 ] 510 千円

ボランティアを必要としている人の希望に応えられるようにボランティア養成講座を実施するとともに、受入側にも啓発しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、開催予定の講座を一部中止しました。

(ボランティア養成講座)

区 分	R2	H31	R2 目標値
講座実施回数	6 回	10 回	12 回
参加人数	86 人	154 人	310 人

(ボランティア依頼件数、対応件数とコーディネート件数)

(件)

依頼者		R2			H31			主な依頼内容	
		依頼	対応	コーディネート	依頼	対応	コーディネート		
単発的なニーズ	個人ニーズ	①障害児	0	0	0	0	0	0	
		②障害者	8	7	6	2	2	1	庭の草取り、庭木の剪定、ゴミ出し
		③高齢者	9	9	9	3	3	3	話し相手、ゴミ出し
		④児童	0	0	0	0	0	0	
		⑤その他	0	0	0	0	0	0	
	小 計		17	16	15	5	5	4	
	団体ニーズ	①障害児施設等	3	3	3	24	24	16	託児、イベント支援
		②障害者施設等	3	3	2	15	15	11	イベント支援
		③高齢者施設等	0	0	0	41	40	32	
		④児童施設等	0	0	0	2	2	2	
		⑤その他	19	18	18	30	30	29	託児、清掃活動
小 計		25	24	23	112	111	90		
単発計		42	40	38	117	116	94		
定期的なニーズ	個人ニーズ	①障害児	1	1	1	2	2	2	郵便物の代読
		②障害者	9	9	3	14	14	9	放課後の見守り
		③高齢者	14	13	8	18	18	12	話し相手、ゴミ出し
		④児童	0	0	0	0	0	0	
		⑤その他	3	3	2	2	2	1	外出支援
	小 計		27	26	14	36	36	24	
	団体ニーズ	①障害児施設等	15	15	5	9	9	3	作業補助
		②障害者施設等	43	43	20	41	41	24	余暇活動支援、作業補助
		③高齢者施設等	81	80	34	133	133	76	話し相手、余暇活動支援、作業補助
		④児童施設等	3	3	2	3	3	2	見守り
		⑤その他	10	10	4	5	5	3	車椅子介助
小 計		152	151	65	191	191	108		
定期計		179	177	79	227	227	132		
合 計		221	217	117	344	343	226		
			コーディネート率 52.9%			コーディネート率 65.7%			

<活動計画取組項目 17>

○ 子どもの居場所づくりに取り組んでいる団体との関係づくり

【地域福祉ボランティアセンター】

こども食堂の立ち上げ支援を2件行いました。また、千葉市こども食堂ネットワーク、千葉市こども家庭支援課と今後の連携体制について協議しました。

### 施策の方向性 3

#### 社会福祉法人や企業による地域における公益的な取組みを促進する

##### <活動計画取組項目 18>

- 社会福祉法人の地域における公益的な取組みの相談・支援 **重点取組項目**

**【地域福祉ボランティアセンター】（共募）175千円[235千円] 238千円**

社会福祉法人の公益的な取組のもと実施している、高齢者等に対する「買物支援サービス事業」は新型コロナウイルス感染症の影響もあり一部の施設でのみ実施しました。またこのような状況下において福祉施設からの新たな協力を得ることは難しく、新規の連携には至りませんでした。昨年度、高齢者施設の地域交流スペースを活用した「わくわく食事会」を実施した施設では、食事会が難しいため、住民と社会福祉法人をつなぐ連絡会組織が立ち上がりました。

区分	R2	H31	R2 目標値
連携事業実施法人	28 法人	28 法人	51 法人

##### <活動計画取組項目 19>

- 企業の社会貢献活動への相談・支援 **【地域福祉ボランティアセンター】**

企業からの相談に基づき、社会貢献活動の提案を行うとともに、企業の取組みの参考になるような事例を収集し、ホームページに掲載しました。

また、株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの「商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定」により32回1,649箱の寄贈、セブン&アイグループ10者との「寄贈品の提供・譲渡に関する合意書」により2回3,552食の寄贈を受け、地域福祉の推進を図りました。

#### 施策の方向性 4

生活課題の解決に向けて、関係者間の連絡調整の役割を担うとともに、一部の生活支援については自ら実施する

##### <活動計画取組項目 20>

#### ○ 地域ケア会議の立ち上げ支援【地域福祉ボランティアセンター】

あんしんケアセンターが、地域課題について話し合う地域ケア会議を立ち上げ、継続的に実施ができるよう支援しました。

28圏域中、新たに立ち上がったところはなく、25圏域で開催されました。

##### <活動計画取組項目 21>

#### ○ 本会の相談窓口の充実

##### 【各区事務所】

コミュニティソーシャルワーカーが中心となり、支援の手が届かない制度の狭間にいる人たちに寄り添いながら、様々な関係団体・機関とのネットワークを構築・活用し、困りごとの解決に向けた支援を行いました。具体的には、個別支援を通して地域の課題を把握し、地域のニーズに応じた地域における支えあいの仕組みづくりを行いました。

##### 【成年後見支援センター】

(受託金) 768 千円[ 619 千円] **988 千円**

権利擁護に関する相談に応じ、市民の不安や疑問を解消するため、弁護士会や法テラスなどの関係機関と連携を図って対応しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、弁護士による専門相談を一部中止しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
成年後見制度に関する相談	1,160 件	758 件	1,200 件
その他の相談	961 件	669 件	
相談件数合計	2,121 件	1,454 件	
(うち弁護士が対応したもの)	(32 件)	(17 件)	

##### 【生活自立・仕事相談センター】(受託金) 29,247 千円[ 28,679 千円] **29,247 千円**

生活保護に至る前の生活困窮者が、生活困窮から早期脱却するために、相談支援により抱えているニーズを把握し、本人の状態に応じた支援計画を策定するとともに自立相談支援を包括的かつ継続的に行い、自立に向けた支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値の約 3.5 倍の新規相談件数となりました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
新規相談件数	2,618 件	744 件	750 件
プラン作成件数	620 件	388 件	375 件

【心配ごと相談所（生活支援課）】（市補、共募）1,353千円[ 1,483千円] **1,640千円**

市民の生活上の様々な悩み事相談に、相談員が問題解決への支援を行いました。  
また、法律問題を伴う相談に応じるため、弁護士による法律相談を行いました。  
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、原則、電話による相談といたしました。

[開所時間] 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）  
10:00～15:00（12:00～13:00を除く）

[相談員] 民生委員・児童委員及び有識者 計14名

区分	R2	H31	R2目標値
法律相談	年7回(18件)	年9回(25件)	年9回
常設相談	243日(835件)	240日(755件)	243日

<活動計画取組項目22>

○ コミュニティソーシャルワーカーを中心とした生活支援の展開 **重点取組項目**

【地域福祉ボランティアセンター】

様々な困難を抱えた方の相談に応じ、地域との連携を通じて課題解決に向けた支援するとともに、コミュニティソーシャルワーカーの課題共有のため月例の会議を開催しました。

区分	R2	H31	R2目標値
コミュニティソーシャルワーカー会議 (個別支援ケース検討)	年10回*	年10回	年12回

※うち3回は、スーパーバイザーとして日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男 氏を招き、相談業務に従事する職員やあんしんケアセンターにも声かけし、事例検討会を行いました。

<活動計画取組項目 2 3 >

○ 本会が担う生活支援の推進

- ・生活困窮者の自立促進【生活自立・仕事相談センター】

(受託金) **29,247 千円**[ 28,679 千円]=再掲=

経済的困窮だけではなく、社会的に孤立していることが多い相談者の社会的自立のための支援とそのための地域の支援体制づくりのため、社協地区部会をはじめ、あんしんケアセンター、コミュニティソーシャルワーカーなど地域福祉に関わる関係機関との連携を図りました。

- ・生活福祉資金貸付事業【生活支援課】

(受託金) **90,113 千円**[ 18,675 千円] **19,387 千円**

千葉県社会福祉協議会から、低所得者、障害者または高齢者に対して、無利子、または低利で融資する貸付事業の一部を受託し、各区事務所が窓口となり、貸付事業を行うとともに、借受世帯の自立と安定に向けた支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯に対し、緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例措置（特例貸付）を実施。感染症対策のため生活福祉資金事務センターを開設し、各区事務所とともに申請受付を行いました。

ア 貸付金の種別

資金の名称		申請件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付金額
総合支援資金		5,091	4,433	3,196,768,800 円
緊急小口資金(特例貸付)		6,255	6,015	1,173,402,000 円
福祉資金	福祉費	41	32	5,949,300 円
	緊急小口資金(通常貸付)	103	98	9,207,500 円
教育支援資金		141	132	140,767,800 円
不動産担保型生活資金		0	0	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	0 円
臨時特例つなぎ資金		0	0	0 円
合計	R2	11,631	10,710	4,526,095,400 円
	H31	403	392	177,879,800 円

イ 各区事務所等貸付取扱状況

(件)

区分	総合支援資金	緊急小口資金(特例)	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	合計
			福祉費	緊急小口資金					
中央区	751	859	5	20	12	0	0	0	1,647
花見川区	594	703	9	29	9	0	0	0	1,344
稲毛区	413	590	4	10	31	0	0	0	1,048
若葉区	251	378	10	25	41	0	0	0	705
緑区	138	259	2	9	11	0	0	0	419
美浜区	223	407	2	5	28	0	0	0	665
事務センター	2,063	2,819	—	—	—	—	—	—	4,882
合計	R2	4,433	6,015	32	98	132	0	0	10,710
	H31	0	—	60	105	226	1	0	392

・日常生活自立支援事業【成年後見支援センター】

(利用料、市補) **45,313 千円**[ 39,543 千円] **48,609 千円**

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力に不安を抱える方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理に関する助言や手続き代行等の援助をしました。

区分	R2	H31	R2 目標値
利用者数 〔年度内延人数〕	321 人	305 人	366 人
(うち新規契約者数)	(81 人)	(86 人)	
(うち解約・終了者数)	(74 人)	(65 人)	
市民活動者数	53 人	57 人	70 人

・法人後見事業【成年後見支援センター】

(後見報酬等) **12,787 千円**[ 11,082 千円] **13,270 千円**

成年後見人等を家庭裁判所より受任し、認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守りました。

区分	R2	H31	R2 目標値	備考
受任件数 〔年度内延件数〕	39 件	30 件	40 件	
(うち新規受任件数)	(11 件)	(6 件)		
(うち終了件数)	(4 件)	(2 件)		
市民活動者数	24 人	20 人	30 人	家庭裁判所からの選任の有無を問わない

・市民後見人の養成・育成【成年後見支援センター】

(受託金) **133 千円**[ 117 千円] **418 千円**

市民後見活動の促進を図るため、新規養成及び市民後見人候補登録者に対してフォローアップ研修を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、平成31年度に一部中止した養成研修(基礎編)については継続実施しましたが、養成研修(応用・実務)については中止しました。

区分	R2	H31	R2 目標値	備考
当年度養成研修受講開始者数	-	25 人	-	養成期間は2か年にまたがる
当年度養成研修修了者数	-	-	30 人	
市民後見人候補登録者数	106 人	106 人	100 人	
フォローアップ研修会開催回数	1 回	1 回	2 回	

## 施策の方向性 5

### 災害対応力の向上を図る

<活動計画取組項目 24>

- 災害ボランティアセンター設置・運営に向けた体制整備 **重点取組項目**

【地域福祉ボランティアセンター】（共募）1,626 千円[ 902 千円] **766 千円**

災害ボランティアセンターで本会職員とともに活動できるボランティアを養成し、発災時には速やかに災害ボランティアセンターを設置・運営できるよう体制整備を行うとともに、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

なお、例年、九都県市合同防災訓練の中で行っている訓練については、九都県市合同防災訓練が新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から中止となったため、実施しませんでした。

区 分	R2	H31	R2 目標値
講座実施回数	年 2 回	年 2 回	年 2 回
訓練実施回数	年 1 回	年 2 回	年 2 回

### 3 実施事業 ～地域福祉活動実施計画外の主だった事業～

○ 指定管理の研修【企画調整課】

(受託金) **52,333 千円**[ 50,018 千円] **55,476 千円**

・管理運営部門研修

健全な法人経営や適正な施設運営を図るため、社会福祉法人の経営者・施設長を対象に、法人経営・施設運営に関する専門知識についての研修を実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、1研修を中止しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	2 研修	2 研修	3 研修
受講者数	12 人	24 人	90 人

・専門職研修

福祉・介護現場に従事する、介護職、ケアマネジャー、看護職、栄養士等の介護現場で働く専門職の方々を対象に、各々に求められる専門的知識や介護技術を習得するための研修等を実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、1研修のうち2日間で1セットとなる研修の1日を中止しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	7 研修	8 研修	7 研修
受講者数	111 人	296 人	190 人

・行政職員研修

福祉担当者の資質の向上を図るため、生活保護担当職員は4階層及び福祉担当職員は2階層に分割し、研修を実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、2研修を中止しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	5 研修	6 研修	7 研修
受講者数	108 人	213 人	240 人

・専門課題研修

福祉、介護施設・事業所等に従事する方々に求められる、介護技術、医療・障害知識等について、テーマを設定し、知識、技能の向上を目指し実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、2研修を中止しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	24 研修	9 研修	26 研修
受講者数	260 人	374 人	720 人

・キャリア創生研修

キャリア創生研修では、業務を通じて求められる知識・技術について習得の機会を提供するとともに、受講者の方々が研修での体験を通して自らの将来像を描き、職業人生の意味を深め、その価値を高めることを狙いとしました。

自らが自らの道（キャリア・パス）を描けることが、人材定着にも寄与すると位置づけ、研修体系上、専門職・専門課題とは切り分けて実施しました。

キャリアパス対応生涯研修については、新任・中堅・チームリーダーの3階層別研修を実施しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	8 研修	4 研修	8 研修
受講者数	154 人	72 人	210 人

・企画提案研修

幅広い分野から、利用者・従事者のニーズに対応する知識、技術をテーマとした研修を企画し実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、4研修を中止しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	3 研修	1 研修	7 研修
受講者数	28 人	12 人	210 人

○ 指定管理以外の研修【企画調整課】

・認知症介護実践者等研修 (受託金) **5,297 千円** [ 6,416 千円 ] **6,795 千円**

市の事業方針等に基づき、専門職員の資質の向上を図るため、社会福祉施設等の介護職員を対象に、認知症介護の専門的知識や技術の習得を図る研修を実施しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	3 研修	3 研修	3 研修
受講者数	161 人	232 人	420 人

・生活援助型訪問サービス従事者研修 (受託金) **427 千円** [ 834 千円 ] **849 千円**

千葉市が平成29年度から移行した新総合事業にあたり、サービスの担い手となる資格を有しない方々が生活援助型訪問サービスを実施する際のサービスの質や安全性を習得するための研修を実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、実施形態を見直し、受講者数を抑制しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	1 研修	1 研修	1 研修
受講者数	22 人	37 人	240 人

- ・福祉人材確保事業研修 (その他) **99 千円**[481 千円] **874 千円**

平成29年度より介護従事者として必要な視点の涵養・スキルの向上・モチベーションの向上を図り、参加者のキャリアパス支援するための研修を実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、1研修を中止しました。

区分	R2	H31	R2 目標値
研修数	1 研修	2 研修	2 研修
受講者数	10 人	78 人	68 人

- 会長表彰【地域福祉総務課】 (共募) **404 千円**[ 474 千円] **605 千円**

千葉市において永年にわたり社会福祉の増進に貢献された方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、本会の目指す“共に手を携える福祉社会”の一層の進展を図ることを目的とし、本会会長表彰式を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、表彰式は開催せず、表彰のみ実施しました。

- ・件数：特別表彰 1 件
- 会長表彰 172 件
- 会長感謝 23 件

- 社協だよりの発行【地域福祉総務課】 (共募) **1,760 千円**[ 2,317 千円] **2,716 千円**

社協の存在や地域福祉の現状を広く市民に PR するため、社協だよりを発行し、町内自治会での回覧や公共施設などへの配架を通じて、多くの市民へ情報を提供しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により年3回の発行としました。

R2			H31	R2 目標値
巻数	発行日	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
第110号	令和2年9月16日	各32,000部	年4回 各32,000部	年4回 各32,000部
第111号	令和2年12月2日			
第112号	令和3年3月17日			

- 地域ふくし力アップ助成金の活用等による地域の仕組みづくりの推進

【地域福祉ボランティアセンター】(その他) **300 千円**[ 45 千円] **1,800 千円**

地域の特性や市民の意向等を踏まえ、コミュニティソーシャルワーカーが相談・助言等を行い、地域福祉の活性化及び地域における福祉課題の解決を図るため、市民が自主的に行う事業に要する経費について、予算の範囲内において、当該事業を実施するものに対し助成金を交付する事業ですが、今年度は2団体に助成しました。

コミュニティソーシャルワーカーを中心として、区事務所が、各種団体・関係機関と連携し、地域特性に合わせた福祉の課題の解決に向けた取組みや仕組みづくりに引き続き努めます。

<助成実績>

区分	R2	H31	R2 目標値
新規助成団体数	2 団体	なし	6 団体

○ 会員募集【地域福祉ボランティアセンター】（会費）831千円[ 954千円] **903千円**

地域福祉活動を継続的に推進するため、市民及び施設・企業などに本会の活動や会員制度への理解を求め、会員の拡大に向けて積極的に働きかけました。

また、賛助会員の拡大については、千葉市老人福祉施設協議会、千葉市民間保育園協議会等関係機関への訪問による依頼や社会福祉施設・企業等への入会案内により、継続的に地域福祉に参加してもらえよう、賛助会員の拡大に努めました。

<会員の状況>

区分		住民会員 (1口200円)	特別会員 (1口3,000円)	賛助会員 (1口10,000円)	会費収納額
地区部会	中央区	41,599口	317口	62口	9,890,800円
	花見川区	34,541口	77口	47口	7,609,200円
	稲毛区	29,964口	103口	32口	6,623,910円
	若葉区	23,284口	12口	16口	4,854,800円
	緑区	23,347口	14口	7口	4,781,450円
	美浜区	22,863口	65口	24口	5,007,620円
地区民児協	花見川区	100口	4口	1口	42,000円
	若葉区	50口	0口	0口	10,000円
本会取扱分		0口	50口	54口	690,000円
合計	R2	175,748口	642口	243口	39,509,780円
	H31	183,711口	757口	291口	41,926,471円

○ 広報紙（地区部会だより）の発行【地域福祉ボランティアセンター】

（会費・共募）1,168千円[ 1,683千円] **2,482千円**

地域住民に対して地区部会活動への理解と担い手を確保・育成していくことを目的とした広報紙（地区部会だより）を発行する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
R2	22回 (11地区)	20回 (11地区)	11回 (7地区)	13回 (6地区)	8回 (4地区)	20回 (8地区)	94回 (47地区)
H31	35回 (16地区)	24回 (12地区)	18回 (10地区)	28回 (13地区)	9回 (4地区)	23回 (8地区)	137回 (63地区)
R2 目標値	39回 (17地区)	30回 (13地区)	24回 (12地区)	50回 (14地区)	10回 (4地区)	47回 (8地区)	200回 (68地区)

○ 地区部会ボランティア講座【地域福祉ボランティアセンター】

(市補) 180 千円[ 1,090 千円] 1,200 千円

地区部会活動への理解と担い手を確保・育成していくためのボランティア講座を開催する地区部会を支援しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から、地区部会に対し、4月から6月まで活動中止を要請し、7月以降、コロナ対策を講じ、可能な範囲での活動再開を依頼しました。

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
R2	1回 (1地区)	2回 (2地区)	3回 (2地区)	10回 (2地区)	0回 (0地区)	2回 (2地区)	18回 (9地区)
H31	24回 (11地区)	18回 (7地区)	15回 (9地区)	33回 (7地区)	5回 (2地区)	14回 (7地区)	109回 (43地区)
R2 目標値	25回 (14地区)	18回 (10地区)	19回 (12地区)	34回 (11地区)	6回 (4地区)	18回 (8地区)	120回 (59地区)

○ 地区部会新型コロナウイルス感染予防対策事業【地域福祉ボランティアセンター】

(会費) 2,673 千円[ 0 千円] 0 千円

地区部会が推進する地域福祉活動を継続するために新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、事業を継続することを目的に1地区部会当たり50,000円を上限として、申請のあった55地区部会に対し助成金を交付しました。

○ ボランティア基金事業【地域福祉ボランティアセンター】

(V基) 1,675 千円[ 2,011 千円] 2,304 千円

ボランティア基金より、ボランティアグループへの助成を行いました。また、ボランティア活動を促進するための資金確保として、使用済み切手等を収集し、ボランティアの協力のもと仕分け作業を行い、売却収入をボランティア基金に積み立てました。

(ボランティアグループへの助成)

区 分	R2	H31
グループ数	84グループ	98グループ
事業数	103事業	122事業
助成金額	1,620,681 円	1,947,656 円

(使用済み切手等の収集量及び売却金額)

区 分	R2		H31	
	収集量	売却金額	収集量	売却金額
使用済み切手	90.3 kg	39,480 円	63.3 kg	28,750 円
使用済みプリペイドカード	12,650 枚	633 円	12,550 枚	628 円
合 計		40,113 円		29,378 円

○ 車椅子貸与事業【生活支援課】

(共募) 366 千円[ 366 千円] 454 千円

車椅子が必要な方へ2か月(最長6か月)を限度として、無償で貸し出し、利用者や介助者の利便性の向上及び経済的負担を軽減しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
貸出数	362 件	482 件	570 件

○ 保育士修学資金等貸付事業【生活支援課】

(市補) **153,939 千円**[ 133,449 千円] **191,548 千円**

・ 保育士修学資金貸付事業

質の高い保育士の養成確保に資することを目的として、指定保育士養成施設に在学し保育士資格取得を目指す学生に対し、修学に必要な資金の貸付を行いました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
貸付件数	164 件	140 件	70 件

・ 保育補助者雇上費貸付事業

保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の貸付を行いました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
貸付件数	5 件	3 件	5 件

・ 保育料の一部貸付事業

未就学児を持つ保育士で、保育の仕事に就労することが決定している方に、保育料の一部について貸付を行いました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
貸付件数	43 件	65 件	60 件

・ 就職準備金貸付事業

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することが決定した場合、就職準備金の貸付を行いました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
貸付件数	26 件	24 件	35 件

○ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【生活支援課】

(市補) **5,077 千円**[6,206 千円] **9,686 千円**

ひとり親の資格取得支援を目的として、高等職業訓練に係る費用（入学準備金・就職準備金）の貸付を行いました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
入学準備金件数	8 件	12 件	15 件
就職準備金件数	2 件	1 件	5 件

- 施設団体等助成事業【生活支援課】 (共募) 2,304 千円[3,525 千円] 4,468 千円  
 社会福祉団体及び民間社会福祉施設が実施する地域福祉活動に要する経費を助成しました。

区 分	R2	H31	R2 目標値
団体補助金	10 団体	13 団体	13 団体
施設補助金	7 団体	31 団体	36 団体
歳末助成金	49 団体	52 団体	70 団体

- 社会福祉事業振興資金貸付事業【生活支援課】 (貸付資金) 0 千円[ 0 千円] 16,270 千円  
 社会福祉法人等が設置運営する社会福祉施設の整備等に必要な資金を融資する目的で実施しました。新規申請はありませんでした。

区 分	R2	H31	R2 目標値
償還元金	1,600 千円	2,800 千円	1,600 千円
受取利息	279 千円	360 千円	279 千円
新規貸付額	0 円	0 円	16,000 千円
新規貸付件数	0 件	0 件	2 件

- 交通遺児援護事業【生活支援課】 (交通遺児援護基金) 79 千円[ 62 千円] 265 千円  
 小・中学校在学の交通遺児に対して、担当民生委員・児童委員を通じて入学祝い金や歳末慰問金を支給しました。

区 分	R2	H31
入学祝い金	4 人	0 人
歳末慰問金	7 人	12 人

- 心身障害児福祉事業【生活支援課】 (共募) 2,012 千円 [ 1,869 千円] 2,314 千円  
 小学1年生から中学3年生までの特別児童扶養手当を受給している心身障害児の養育者に対して、担当民生委員・児童委員を通じて歳末慰問金を支給しました。

区 分	R2	H31
歳末慰問金	476 人	444 人

- 緊急一時的な食糧支援事業【生活支援課】  
 フードバンクちばと連携し、生活困窮者へ緊急一時的な支援を行いました。

<食品配送申請受付件数>

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	事務センター	合計
R2	208 件	50 件	34 件	87 件	22 件	41 件	18 件	460 件
H31	202 件	43 件	17 件	39 件	10 件	32 件	-	343 件

○ 放課後児童健全育成事業【児童育成課】

(受託金) **2,196,787 千円**[ 2,366,877 千円] **2,492,443 千円**

(市補) **67,997 千円**[ 一千円] **96,828 千円**

就労等により昼間家庭にいない保護者の小学校児童に対して、授業終了後の遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てを支援する事業を千葉市から受託し、実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として千葉市からの補助金により、各子どもルームに配布するマスクや消毒液、検温器などを購入して感染予防に取り組みました。

ルーム数及び利用児童数				
区 分	R2(R3.3.1時点)		H31(R2.3.1時点)	
	ルームか所数	利用児童数	ルームか所数	利用児童数
中 央 区	31か所(9)	1,388人(218)	29か所(8)	1,505人(204)
花見川区	24か所(5)	1,177人(137)	26か所(5)	1,385人(163)
稲 毛 区	24か所(8)	1,132人(178)	28か所(8)	1,469人(191)
若 葉 区	17か所(3)	752人(64)	16か所(1)	801人(21)
緑 区	22か所(4)	1,029人(109)	27か所(6)	1,371人(142)
美 浜 区	25か所(5)	1,411人(106)	26か所(4)	1,617人(88)
合 計	143か所(34)	6,889人(812)	152か所(32)	8,148人(809)

※ ( ) 内は高学年ルーム及び高学年児童の内数

○ 権利擁護支援に係る地域連携ネットワークの強化【成年後見支援センター】

(受託金) **143 千円**[ 143 千円] **208 千円**

千葉市とともに、千葉県弁護士会等の各種専門職団体、千葉市あんしんケアセンター、千葉市障害者基幹相談支援センター等の関係機関、千葉家庭裁判所などが参画する会議を開催（4回、うち2回は書面により会議）し、多職種間での更なる連携強化を図りました。

○ 福祉関係団体事務局の運営による地域福祉の推進

【地域福祉ボランティアセンター】【生活支援課】【区事務所】

福祉関係団体の事務局を担い、団体の円滑な事務局運営の支援を行うとともに、本会活動との密な連携に務め、地域福祉の推進を図りました。

本会が事務局を担う団体は下記のとおりです。

- ・千葉市社会福祉協議会社会福祉施設連絡協議会
- ・千葉市ボランティア連絡協議会
- ・千葉市民生委員児童委員協議会  
(千葉市各区民生委員児童委員協議会)
- ・千葉県共同募金会千葉市支会
- ・日本赤十字社千葉県支部千葉市地区本部  
(日本赤十字社千葉県支部千葉市地区本部各区地区)
- ・千葉市赤十字奉仕団  
(千葉市各区赤十字奉仕団)

○ 千葉市子どもナビゲーター事業【中央区事務所】

(受託金) **6,974 千円**[ 5,198 千円] **6,974 千円**

子どもの貧困対策として、経済的な困窮だけでなく、家庭環境などから、基本的な生活習慣が乱れている子どもを支援するため、直接、子どもや家庭に対して生活習慣の改善を働きかけるとともに、様々な支援機関や関連事業につなげ、子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう支援を行いました。

○ 千葉市生活支援コーディネーター設置業務の実施

【花見川区事務所、稲毛区事務所・若葉区事務所・緑区事務所・美浜区事務所】

(受託金) **25,221 千円**[ 20,102 千円] **25,221 千円**

日常生活上の支援が必要な高齢者に対して多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、花見川区、稲毛区、若葉区、緑区及び美浜区における千葉市生活支援コーディネーター設置業務を千葉市より受託しました。支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図るため、生活支援コーディネーターを各区2名配置し、地域の生活支援・介護予防サービスなど地域資源の把握、多職種との連携に努めました。

## Ⅲ 施設福祉部門

### 1 概況

本会の経営改善計画（平成28～令和3年度）に基づき、中長期的な視野をもって利用者サービスの向上や地域福祉の推進を図るとともに、合併による新たな効果の発現に向け、各種事業に積極的に取り組みました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による施設の休館や行動制限により、多くの事業を延期や中止としたため、各施設の利用者数は、前年度を下回りました。

自主運営事業にあっては、和陽園が前年度に引き続き黒字計上となり、さらに中央・花見川・美浜いきいきプラザ内デイサービスセンターも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による稼働率の低下がありましたが、臨時的報酬区分の見直しによる収入増加並びに国からの新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金により、3施設全体で黒字計上となりました。

### 2 施設別事業

#### (1) 施設福祉総務課

- 千葉市桜木園、千葉市療育センター、千葉市大宮学園、千葉市いきいきプラザ・千葉市いきいきセンターの指定管理者（指定期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで）について、長年に渡る管理実績により蓄積されたノウハウを活かした指定管理提案書を作成し申請した結果、千葉市より指定管理者として選定されました。
- 採用困難職種の人員確保に向け、看護師や介護員を対象とした就職セミナーへの出展や採用専用ホームページを開設するなど、広報活動の強化に努めました。
- 職員の定着化に向け、ハラスメント防止に関する要綱を制定するなど、労働環境の整備に努めました。
- 令和4年度からの人事考課制度の導入（非管理職は令和5年度から）に向け、職員に対し、目標申告シートの活用等新制度への更なる深化を図りました。
- 和陽園の再整備について、平成31年3月に提出した和陽園再整備計画アウトラインに基づき、千葉市と協議しました。
- 資金運用規程に則り、施設整備等積立金の適正な運用を図るとともに、和陽園再整備の積立金についても、計画どおり積み立てました。
- 地域福祉活動・ボランティア活動に参加する人材養成等を目途とした「ちばし地域づくり大学校」を千葉市より受託しました。（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）
- 新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生した和陽園に対し、部門内の職員派遣による応援体制を迅速に構築し、事態の終息に努めました。

### 【重点項目】

- 合併による組織改編に伴い、引き続き、円滑な事業運営に努めるとともに、合併による相乗効果を活かした新たな事業に取り組みます。
- 令和3年度以降の新たな経営改善計画について、新社協としての統合計画の策定を目指し、地域福祉部門と協議します。

### 【結果】

- 新型コロナウイルス感染症による利用制限等制約下の中にあっても、円滑な事業運営を図ることができましたが、合併効果を活かした新たな事業の実施には至りませんでした。
- 経営改善計画及び基盤強化方針については、最終年度であった令和2年度を1年延伸し、当該計画（方針）の目標達成に向け取り組むとともに、新たな統合計画（方針）は、令和3年度中に策定します。

## (2) パラスポーツコンシェルジュ

パラスポーツの普及・啓発を促進し、共生社会の実現を目指すため、より多くの障害者がスポーツ活動に参加できるよう環境の整備に努めました。

- 障害の種別、年齢等に関係なく、スポーツ活動を希望する障害者、家族及び施設等の相談に応じました。また、相談にあたり、個々の障害の特性や、生活環境等を十分に把握し、適切な助言や情報提供に努めるとともに相談記録を作成し管理しました。
- 障害福祉サービス事業所や地域活動支援センターを訪問し、障害者がスポーツ活動に参加できる環境の整備依頼等を行いました。
- 千葉市スポーツ協会や千葉市スポーツ振興会、その他サークル団体等と連携を図り、パラスポーツ体験会などの行事に対する企画等の助言を行いました。
- スポーツ施設を所有、または、管理する団体や学校等に対し、一般利用者と区別することなく、誰もが楽しく安全に利用できるソフト面からの工夫や配慮などの助言を行いました。
- 市内及び周辺地域で活動するスポーツ団体、サークルの情報、体験会、スポーツ施設の情報のほか、補助金等の情報収集に努め、ホームページにて発信しました。
- スポーツ活動参加のハードルを下げることを目途に、体験会や定期的な教室の機会を増やし、スポーツを始めやすい環境作りに努めました。
- 昨年度に引き続き、千葉市の協力のもと、市内約18,000人の障害者の方に広報誌（パラスポーツコンシェルジュ通信・2回刊行）を発送し、事業の認知度を高めました。

### ア 月別相談件数

月別	延べ相談人数		
	個人（人）	団体（人）	計（人）
令和2年4月	4	0	4
5月	1	2	3
6月	26	0	26
7月	23	3	26
8月	10	0	10
9月	8	0	8
10月	40	0	40
11月	76	0	76
12月	32	0	32
令和3年1月	2	0	2
2月	15	0	15
3月	12	0	12
合計	249	5	254
月平均	20.8	4.2	21.1
(前年度)	28.6	6.1	34.7

イ 年代別個人相談人数

年代	男性（人）	女性（人）	計（人）	割合
10歳代以下	70	14	84	33.7%
20歳代	36	12	48	19.3%
30歳代	27	3	30	12.0%
40歳代	9	8	17	6.8%
50歳代	4	6	10	4.1%
60歳代	11	10	21	8.4%
70歳以上	15	14	29	11.6%
不明	6	4	10	4.1%
合計	178	71	249	100.0%
割合	71.5%	28.5%	100.0%	

ウ 相談内容

相談内容	件数	割合
自分に合ったスポーツを知りたい	18件	7.1%
スポーツ活動に参加したい	199件	78.3%
体験会・イベント情報を知りたい	23件	9.1%
スポーツ施設情報を知りたい	1件	0.4%
施設・サークル等の参加者を増やしたい	1件	0.4%
その他	12件	4.7%
合計	254件	100.0%

エ 個人相談者内訳

区分	来所（人）	訪問（人）	電話（人）	メール等（人）	小計（人）	割合
障害者	46	21	74	7	148	59.4%
健常者（家族）	22	24	49	6	101	40.6%
健常者（その他）	0	0	0	0	0	0.0%
合計	68	45	123	13	249	100.0%
割合	27.3%	18.1%	49.4%	5.2%	100.0%	

オ 団体相談件数

区分	件数
スポーツ団体（スポーツサークル）	1件
その他の団体（障害者団体）	4件
合計	5件

カ 障害者種別

区分	件数 (人)	割合
身体障害（肢体）	112	45.0%
身体障害（視覚）	5	2.0%
身体障害（聴覚）	1	0.4%
知的障害	112	45.0%
精神障害	3	1.2%
発達障害	0	0.0%
知的・発達障害	2	0.8%
知的・精神障害	12	4.8%
精神・発達障害	2	0.8%
その他	0	0.0%
合計	249	100.0%

### (3) 千葉市桜木園

#### <入所部門>

- 重症心身障害児者ひとり一人の個性に応じた個別支援計画を作成し、安全な医療・看護と日常生活の介護・療育を提供しました。（医療型障害児入所支援、療養介護）
- 「千葉市桜木園医療安全管理指針」等に基づき、事故防止・感染症予防に取り組み、また、発生時には迅速に対応し、再発・拡大を防止に努めました。

#### <通所部門>

- 在宅の重症心身障害児者が社会経験を積み、より充実した生活を送るために日中活動の場を提供するとともに、介護する家族を支援しました。（児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護）
- 一時的に介護が困難な在宅の重症心身障害児者を短期間保護する「医療型短期入所事業」及び「千葉市地域生活支援事業（日中一時支援事業）」を実施し、在宅障害児者及び介護する家族を支援しました。
- 地域の障害福祉の中核的役割を果たすため、「千葉市障害児等療育支援事業」を実施し、在宅障害児者、家族、福祉施設職員等に対し、助言・指導等を行うとともに、ボランティアを積極的に受け入れ、施設機能の地域への還元に努めました。
- 在宅障害児者の外来診療を実施するとともに、千葉市乳幼児精密健康診査委託医療機関、指定小児慢性特定疾病医療機関として、在宅医療体制の強化を図りました。

### 【重点項目】

#### <入所部門>

- 高齢化する入所利用者に対して、きめ細かな看護等の提供と身体状況に応じた外出や楽しみ方を工夫し、豊かな生活が送れるよう支援していくとともに、ターミナルケアにも取り組みます。短期入所においても人工呼吸器装着者等医療的ケア度の高い方の受け入れに応えられるよう、体制の整備に取り組みます。また、高齢のご家族には、利用者の成年後見制度への理解と利用を促し、意向を汲み取りながら支援します。

#### <通所部門>

- 在宅の重症心身障害児者及びご家族の要望に可能な限り応えられるよう、増加する医療的ケアに対応する研修及び安全に支援できる設備・環境など受け入れ体制の充実整備に取り組みます。また、通園部門は、看護職員を増員し、桜木園に求められる医療的ケア度の高い方を安心・安全により多く支援できるよう取り組み、利用者数の増加を図ります。

### 【結果】

#### <入所部門>

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、外出行事並びに外部ボランティアによる園内行事を中止しましたが、入所利用者に季節の移ろいや、楽しみを見つけていただくため、各居室において感染対策に注意しつつ季節行事やお茶会を実

施しました。成年後見制度については高齢により施設入所されたご家族に代わり第三者後見を開始する支援を行ったほか、保護者様に個別に説明を行いました。

<通所部門>

- 医療的ケアへの取組みについて、人工呼吸器使用者の受け入れ体制整備として安全対策のマニュアルを整備するとともに施設内研修を行い、安全性の向上を図りました。また、呼吸療法認定士の資格取得を目指し、外部研修を修了しましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により資格試験の実施が延期され年度内の取得には至りませんでした。通所部門は4月に新規利用者3名と契約しましたが、緊急事態宣言発令による利用自粛要請、及び療養介護への入所による契約終了があり利用者数は減少しました。

ア 入所月別利用児・者状況

月 別	入所 定員50人					
	医療型障害児入所施設		療養介護		計	
	契約人数 (措置 込み) (人)	延人数 (人)	契約 人数 (人)	延人数 (人)	契約 人数 (人)	延人数 (人)
2年4月	3	90	47	1,382	50	1,472
5月	3	93	47	1,457	50	1,550
6月	3	90	47	1,405	50	1,495
7月	3	93	47	1,437	50	1,530
8月	3	93	45	1,395	48	1,488
9月	3	90	45	1,350	48	1,440
10月	3	93	45	1,395	48	1,488
11月	3	90	46	1,372	49	1,462
12月	3	93	46	1,401	49	1,494
3年1月	3	93	47	1,439	50	1,532
2月	3	84	47	1,312	50	1,396
3月	3	93	47	1,433	50	1,526
計	36	1,095	556	16,778	592	17,873
月平均	3.0	91.3	46.3	1,398.2	49.3	1,489.4
前年度実績	36.0	1,018	560.0	16,944	596	17,962
前年度平均	3.0	84.8	46.7	1,412.0	49.7	1,496.8

イ 入所年齢別利用児・者数

年齢	総数 (人)	男性 (人)	女性 (人)
11歳	1	1	0
15歳	1	1	0
17歳	1	1	0
18歳	1	1	0
23歳	1	0	1
26歳	1	1	0
27歳	1	0	1
28歳	2	1	1
29歳	1	0	1
30歳	3	2	1
33歳	1	0	1
35歳	1	1	0
36歳	1	1	0
37歳	1	0	1
38歳	1	0	1
40歳	1	0	1
42歳	3	2	1
43歳	1	0	1
46歳	3	2	1
47歳	2	1	1
48歳	1	0	1
50歳	2	1	1
51歳	3	2	1
52歳	1	0	1
53歳	1	1	0
54歳	1	1	0
56歳	8	2	6
57歳	1	1	0
58歳	1	1	0
59歳	3	2	1
計	50	26	24
平均年齢 (歳)	42.6	41.3	44.2

令和3年3月31日現在

ウ 在宅支援月別利用児・者状況

月 別	定員5人							障害児等 療育支援事業			外来診療
	契約 人数 (人)	短期入所				日中一時 支援事業		訪問療育 相談 訪問健康 診査等 (人)	外来療育 相談 (人)	地域生活 支援 施設支援 一般指導 (回)	利用 延べ人数 (人)
		宿泊		日帰り		利用 人数 (人)	利用 日数 (日)				
		利用 人数 (人)	利用 日数 (日)	利用 人数 (人)	利用 日数 (日)						
2年4月	58	5	21	2	3	0	0	0	0	0	97
5月	58	0	0	1	1	0	0	0	0	0	73
6月	58	5	38	2	4	0	0	2	0	0	123
7月	59	6	45	2	8	0	0	0	0	0	119
8月	60	10	54	3	6	0	0	0	0	0	115
9月	60	9	51	4	8	0	0	0	0	0	120
10月	60	4	47	3	9	0	0	0	0	0	112
11月	60	8	46	4	9	0	0	0	0	0	121
12月	60	7	51	1	4	0	0	0	0	0	109
3年1月	60	6	37	2	9	0	0	0	0	0	82
2月	59	3	25	2	8	0	0	0	0	0	90
3月	58	5	44	2	5	0	0	0	2	0	140
計		68	459	28	74	0	0	2	2	0	1,301
月平均		5.7	38.3	2.3	6.2	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	108.4
前年度 実績		200	1,362	94	167	3	3	2	12	1	1,511
前年度 平均		16.7	113.5	7.8	13.9	0.3	0.3	0.2	1.0	0.1	125.9

※4/13～5/26 緊急事態宣言発令に伴う利用自粛要請

※5/27～感染者隔離用個室確保のため2床+緊急枠

月 別	通所 定員20人											
	児童発達支援			放課後等 デイサービス			生活介護			計		
	契約 人数 (人)	利用 人数 (人)	利用 日数 (日)									
	(人)	(人)	(日)									
2年4月	0	0	0	6	0	0	29	27	99	35	27	99
5月	0	0	0	3	0	0	29	12	12	32	12	12
6月	0	0	0	2	0	0	29	24	100	31	24	100
7月	0	0	0	1	0	0	29	27	201	30	27	201
8月	0	0	0	5	5	8	29	25	184	34	30	192
9月	0	0	0	5	0	0	29	27	185	34	27	185
10月	0	0	0	4	0	0	29	27	223	33	27	223
11月	0	0	0	3	0	0	29	27	185	32	27	185
12月	0	0	0	3	0	0	29	26	158	32	26	158
3年1月	0	0	0	5	2	2	29	26	115	34	28	117
2月	0	0	0	5	0	0	28	10	127	33	10	127
3月	0	0	0	5	2	2	28	23	203	33	25	205
計		0	0		9	12		281	1,792		290	1,804
月平均		0.0	0.0		0.8	1.0		23.4	149.3		24.2	150.3
前年度 実績		0	0		18	19		313	3,127		331	3,146
前年度 平均		0.0	0.0		1.5	1.6		26.1	260.6		27.6	262.2

※4/13～5/26 緊急事態宣言発令に伴う利用自粛要請

※12/23～12/28 職員家族の新型コロナウイルス感染のため通所閉鎖

※1/12～3/21 緊急事態宣言発令に伴う利用自粛要請

#### (4) 和陽園

- 老人福祉法及び介護保険法等関係法令に基づき、ご利用者様の意向を尊重し、個人の尊厳の保持に努め、ご利用者様一人ひとりが安心して心豊かに快適な生活が送れるように、ご利用者様本位の施設サービス計画を策定し、きめの細かなサービスの提供と実践に努めました。
- ご利用者様の生活感・社会性が保持できるよう、四季折々の行事を実施しました。また、実施にあたり、地域の保育所、幼稚園、小中学校、ボランティア、その他地域の方々にご協力をいただき、地域交流に努めました。
- ご利用者様やご家族・身元引受人などの同意により、「和陽園での看取りに関する指針」に基づきターミナルケアを行いました。
- 施設利用率の維持向上及び各種補助金等の交付申請を実施し収入の確保に努め経営の安定化を図りました。

##### <養護老人ホーム>

- 生活環境及び経済的理由により、自宅において生活することが困難な65歳以上の方に対し、喜びや生きがいを感じながら自分らしく安心して生活が送れるように施設サービス計画に基づき、日常生活の援助や健康管理に努めました。
- ご利用者様が集団生活の中で、主体的に社会性のある生活が送れるように支援を行いました。
- 生命又は身体に重大な危害が生じる恐れがあると認められる方を一時的に保護する「千葉県高齢者虐待等居室確保事業」を行いました。

##### <特別養護老人ホーム>

- 日常生活に常時介護が必要で、自宅では介護が困難な要介護者に対し、食事・入浴・排泄などの介護、健康管理などを行いました。
- ご利用者様のご意向を反映したケアプランを基に、心身ともに充実した豊かな生活が送れるよう支援しました。
- 在宅の高齢者などの介護者が病気等で介護が困難な場合に利用できる「短期入所生活介護事業」を実施しました。

##### <特別養護老人ホーム・ユニット型>

- 個々のライフスタイルを尊重し家庭的な雰囲気の中でよりきめの細かい支援を実践しました。
- ユニット型の特性である個人の生活の充実と共同生活での交流を通じての社会的疎外感の軽減により安息な生活が送れるよう支援しました。
- 「短期入所生活介護事業」を実施し、関係事業所等と連携を図り利用者の積極的な受け入れに努めました。

##### <訪問介護・日常生活支援総合事業>

- 訪問介護員が要介護の状態にある方に対し、自立した日常生活を営むことができるように、入浴・排泄・食事の介護やその他生活全般における支援を行いました。

<居宅介護支援事業所>

- 介護支援専門員が要介護の状態にある方に対し、可能な限り居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう居宅サービス計画を作成し、サービス提供事業者と連携を図りながら適切な支援を行いました。

【重点項目】

- 養護老人ホームの機能と役割を自治体やあんしんケアセンター等の関係機関に周知し、連携を図ることで、介護保険制度では対応できない福祉的・専門的支援ニーズを抱えている高齢者を受け入れるよう努めます。
- 入所者に対し、地域の自治会や住民、保育所等との地域交流事業を通して社会参加を促し、生活の張りや楽しみを感じていただくなど、生きがいにあふれる豊かな生活を支援します。

【結果】

- 花見川区と緑区のあんしんケアセンター9ヶ所を訪問し、養護老人ホームの機能、役割、制度等の説明を行い、共通理解を図りました。訪問を継続的に行い、連携を図れる関係を築けたことにより、利用者数も増加し、前年度対比初日現在在所者数74.2人が77.8人と増加しました。
- 年12回実施を予定していた地域交流事業のうち、6月に地域自治会の「地域の清掃活動」、7月に地域住民向けの「介護保険制度説明会」を実施しました。その他については、新型コロナウイルス感染予防対策のため、当初予定していた近隣保育所、地域住民等との行事等は規模を縮小し、入居者と職員で開催しました。

ア 月別在所者状況（養護老人ホーム）

月 別	養護老人ホーム (定員 80人)					高齢者虐待等 居室確保事業 定員 3人	
	初日現在 在所者数	延人数	平均	退所者数	退所理由	入所者数	在所日数
	(人)	(人)	(人)	(人)		(人)	(日)
2年4月	74	2,243	74.8	0		3	77
5月	75	2,332	75.2	0		5	85
6月	77	2,310	77.0	0		3	53
7月	77	2,409	77.7	0		4	59
8月	79	2,437	78.6	1	長期入院1	5	84
9月	78	2,342	78.1	1	他施設1	8	140
10月	79	2,449	79.0	0		4	121
11月	79	2,370	79.0	0		4	80
12月	80	2,477	79.9	1	他施設1	2	14
3年1月	79	2,449	79.0	1	他施設1	1	20
2月	79	2,205	78.8	1	死亡1	2	35
3月	78	2,428	78.3	0		1	13
計	934	28,451	—	5	死亡1、長期入院1、他施設3	42	781
月平均	77.8	2,370.9	77.9	0.4		3.5	65.1
前年度実績	891	27,242	—	11	死亡8、長期入院3	70	1,489
前年度平均	74.2	2,270.2	74.4	0.9		5.8	124.1

イ 月別在所者状況（養護老人ホーム）

月 別	特別養護老人ホーム (定員 50人)					短期入所生活介護事業					
	初日現在 在所者数 (人)	延人数 (人)	平均 (人)	退所者数 (人)	退所理由	一般ショート		千葉市緊急ショート		千葉市特例短期入所 (やむを得ない措置)	
						定員 6人					
						入所者数 (人)	在所日数 (日)	入所者数 (人)	在所日数 (日)	入所者数 (人)	在所日数 (日)
2年4月	50	1,500	50.0	1	死亡1	5	116	2	60	1	30
5月	50	1,550	50.0	3	死亡2、長期入院1	10	104	2	62	1	31
6月	50	1,500	50.0	2	死亡2	6	117	2	60	1	30
7月	50	1,550	50.0	0		5	124	2	62	1	31
8月	50	1,550	50.0	0		5	124	3	43	1	19
9月	50	1,500	50.0	0		5	120	2	60	1	20
10月	50	1,550	50.0	1	長期入院1	4	124	3	58	1	31
11月	50	1,500	50.0	1	死亡1	5	115	2	41	1	16
12月	50	1,550	50.0	2	死亡1、長期入院1	6	124	1	17	2	28
3年1月	50	1,550	50.0	1	長期入院1	5	124	0	0	2	62
2月	50	1,400	50.0	1	死亡1	5	108	0	0	2	56
3月	50	1,550	50.0	2	死亡2	4	122	0	0	2	62
計	600	18,250	—	14	死亡10、長期入院4	65	1,422	19	463	16	416
月平均	50.0	1,520.8	50.0	1.2		5.4	118.5	1.6	38.6	1.3	34.7
前年度実績	600	18,300	—	13	死亡13	81	1,386	24	379	14	298
前年度平均	50.0	1,525.0	50.0	1.1		6.8	115.5	2.0	31.6	1.2	24.8

ウ 月別在所者状況（特別養護老人ホーム・ユニット型）

月 別	特別養護老人ホーム・ユニット型 (定員 30人)					短期入所生活介護事業	
	初日現在 在所者数 (人)	延人数 (人)	平均 (人)	退所者数 (人)	退所理由	一般ショート	
						定員 10人	
						入所者数 (人)	在所日数 (日)
2年4月	30	900	30.0	0		12	278
5月	30	930	30.0	1	死亡1	13	290
6月	30	900	30.0	0		11	294
7月	30	930	30.0	0		11	306
8月	30	930	30.0	0		11	304
9月	30	900	30.0	2	死亡2	11	283
10月	30	930	30.0	1	長期入院1	13	288
11月	30	900	30.0	1	死亡1	11	295
12月	30	930	30.0	0		10	306
3年1月	30	930	30.0	0		10	306
2月	30	840	30.0	0		10	280
3月	30	930	30.0	0		10	310
計	360	10,950	—	5	死亡4、長期入院1	133	3,540
月平均	30.0	912.5	30.0	0.4		11.1	295.0
前年度実績	360	10,980	—	6	死亡3、長期入院3	150	3,530
前年度平均	30.0	915.0	30.0	0.5		12.5	294.2

エ 年齢別在在者数

年齢別	養護 [80人] (人)	特養 [50人] (人)	特養ユニット [30人] (人)	備考
60～64歳	0	0	0	養護 最高年齢 男 92歳 女 95歳 最低年齢 男 67歳 女 68歳 平均年齢 男 80.71歳 女 83.03歳
65～69歳	2	0	0	
70～74歳	9	1	1	
75～79歳	15	8	4	特養 最高年齢 男 94歳 女 100歳 最低年齢 男 75歳 女 74歳 平均年齢 男 84.55歳 女 86.33歳
80～84歳	25	11	7	
85～89歳	16	15	5	
90歳以上	12	15	13	特養ユニット型 最高年齢 男 91歳 女 104歳 最低年齢 男 78歳 女 74歳 平均年齢 男 84.20歳 女 88.35歳
計	79	50	30	
前年度実績	74	50	30	

令和3年3月31日現在

オ 月別利用実人員・延利用回数（訪問介護、日常生活支援総合事業）

月別	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		要支援1		要支援2		月計	
	実人員 (人)	延回数 (回)														
2年4月	13	253	14	343	22	872	10	829	4	396	0	0	0	0	63	2,693
5月	12	245	14	336	22	911	13	921	4	409	0	0	0	0	65	2,822
6月	12	269	14	356	22	926	13	959	4	395	0	0	0	0	65	2,905
7月	12	264	14	383	22	968	13	1,013	4	411	0	0	0	0	65	3,039
8月	11	218	14	393	22	965	13	996	4	400	0	0	0	0	64	2,972
9月	11	233	14	389	23	957	12	899	5	446	0	0	0	0	65	2,924
10月	11	245	14	401	23	1,019	12	961	5	513	0	0	0	0	65	3,139
11月	11	229	14	366	23	999	12	941	5	496	0	0	0	0	65	3,031
12月	11	242	14	384	22	999	11	837	7	605	0	0	0	0	65	3,067
3年1月	12	247	14	381	21	961	11	788	7	681	0	0	0	0	65	3,058
2月	12	230	14	356	20	822	11	811	7	564	0	0	0	0	64	2,783
3月	12	231	15	359	19	783	11	857	7	589	0	0	0	0	64	2,819
計	140	2,906	169	4,447	261	11,182	142	10,812	63	5,905	0	0	0	0	775	35,252
前年度実績	129	2,164	165	4,261	273	10,862	83	6,738	68	6,727	0	0	9	37	727	30,789

カ 月別利用者数（居宅介護支援事業所）

月 別	要介護1 (人)	要介護2 (人)	要介護3 (人)	要介護4 (人)	要介護5 (人)	要支援1 (人)	要支援2 (人)	月計 (人)
2年4月	23	25	28	16	7	1	0	100
5月	22	23	28	19	7	1	0	100
6月	22	23	27	18	9	1	0	100
7月	21	22	27	18	9	1	0	98
8月	20	22	27	18	9	1	0	97
9月	21	22	30	17	10	2	0	102
10月	21	21	31	18	9	2	0	102
11月	22	21	31	17	9	2	0	102
12月	22	22	31	15	10	2	0	102
3年1月	23	23	29	15	10	2	0	102
2月	22	22	29	16	9	2	0	100
3月	23	22	28	16	10	2	0	101
計	262	268	346	203	108	19	0	1,206
前年度実績	242	298	349	140	126	12	0	1,167

## (5) 千葉市療育センター

障害の早期発見・早期療育を重点目標にかかげ、療育及びリハビリテーションの総合拠点施設として、障害児者の日常生活での自立や社会参加の促進を図るため、各専門スタッフが密接な連携のもと、相談、診療、指導及び機能回復訓練を行い、療育及び自立支援の向上に努めました。

### <療育相談所（相談・検査部門）>

- 心身発達の遅れや障害がある、もしくは、その疑いがある児童及び保護者に対し、相談・診察・検査・評価・指導・訓練を実施しました。また、協議会内の施設をはじめ、関係機関と連携して支援を行いました。

### 【重点項目】

- 各専門職の技術向上と業務の定型化を推進することにより、引き続き、待機期間の短縮に努めるとともに、関係機関と連携した障害の早期発見・早期療育のための新たな運営フローについて、検討します。

### 【結果】

- 今年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、診察室や各個別指導室において換気や消毒の徹底、ご利用者様へ検温や消毒のご協力、窓のない部屋など換気が十分に行えない部屋に使用制限を設けるなど、感染予防対策に努めながら事業を実施しました。その結果、部屋の利用にあたっては、1日あたりに受け入れられる件数が限られる中で事業を運営してきました。相談員は、年度当初に1人退職し3人体制となりましたが、12月に4人体制となり、待ち期間の短縮に努めました。新規患者数（新規相談及び受理面接）はそれぞれ927件（31年度1,068件）、665件（31年度805件）でした。相談員同士が連携し、個別のニーズに迅速、丁寧に対応することもでき、担当相談員が不在の際にも、他の相談員で可能な限り対応するなど安定して業務を遂行する体制を継続してきました。専門職別の実績は、心理判定業務については、新規の評価を昨年度同様平均1か月の待ち時間で実施できました。初診増加に伴い、翌年度以降の再評価も増加しており実績も（31年度475件→2年度544件）上げることができました。個別指導も、昨年度同様に対象を限定しながらであるものの実施することができました。言語聴覚療法は、昨年度同様平均1か月の待ち時間で実施できました。また、保護者宛てに評価結果についての報告書をお渡しし、言葉とコミュニケーションの発達について理解を深めていただくよう努めました。作業療法については、継続的な指導とともに、日常生活の中で必要な動作や体幹の使い方等をより分かりやすく保護者と利用者寄り添った指導、支援を実施してきました。また、作成したリーフレットを活用することにより、作業療法の必要性の理解を促し評価、指導につなげることができました。理学療法については、対象児が減少傾向にありましたが、日常生活に必要な動作の獲得をすることや、療育へのニーズが高い保護者に対して、ニーズに応じた頻度で昨年度同様個別指導を行うことができました。早期発見・早期療育のための新たな運営フローについて、見直しを試みましたが、検討を継続しており新たな実施には至りませんでした。次年度以降も、引き続き検討を重ねてまいります。

ア 月別利用状況

月別	開所 日数 (日)	相談状況					計
		新規相談	受理面接	再相談	他機関連携 ・調整	他機関 への訪問	
令和2年4月	21	20	60	156	82	0	318
5月	18	39	29	132	77	0	277
6月	22	76	61	186	104	1	428
7月	21	91	51	214	104	1	461
8月	20	99	36	205	123	0	463
9月	20	95	54	172	122	3	446
10月	22	93	61	218	139	2	513
11月	19	88	63	190	120	4	465
12月	20	107	63	195	131	2	498
令和3年1月	19	55	61	177	129	3	425
2月	18	65	57	175	111	3	411
3月	23	99	69	223	190	2	583
計	243	927	665	2,243	1,432	21	5,288
月平均	20.3	77.3	55.4	186.9	119.3	1.8	440.7
前年度実績	240	1,068	805	2,415	822	16	5,126
前年度月平均	20	89.0	67.1	201.3	68.5	1.3	427.2

月 別	診療状況 ( )は新規									
	小児科		整形外科		精神神経科		耳鼻咽喉科		計	
令和2年4月	397	(63)	6	(2)	-	(0)	21	(6)	424	(71)
5月	350	(30)	2	(0)	1	(1)	19	(6)	372	(37)
6月	477	(58)	4	(0)	5	(5)	32	(9)	518	(72)
7月	502	(47)	6	(0)	3	(2)	32	(8)	543	(57)
8月	491	(31)	4	(0)	5	(3)	37	(11)	537	(45)
9月	472	(51)	4	(0)	3	(1)	39	(12)	518	(64)
10月	513	(59)	6	(2)	5	(2)	44	(7)	568	(70)
11月	470	(58)	2	(0)	2	(1)	44	(10)	518	(69)
12月	526	(62)	7	(2)	6	(5)	46	(12)	585	(81)
令和3年1月	504	(60)	8	(3)	5	(3)	48	(16)	565	(82)
2月	495	(57)	6	(1)	7	(2)	31	(10)	539	(70)
3月	601	(68)	5	(0)	7	(2)	46	(15)	659	(85)
計	5,798	644	60	10	49	27	439	122	6,346	803
月平均	483.2	53.7	5.0	0.8	4.1	2.3	36.6	10.2	528.8	66.9
前年度実績	6,383	776	82	6	0	0	635	175	7,100	957
前年度月平均	531.9	64.7	6.8	0.5	0	0	52.9	14.6	591.7	79.8

月 別	訓練・評価					検査			
	理学療法	作業療法	聴能・言語	心理	計	X線	脳波	一般	計
令和2年4月	15	29	48	89	181	6	0	36	42
5月	17	36	65	67	185	0	0	10	10
6月	24	47	87	92	250	0	0	143	143
7月	26	51	107	106	290	3	0	11	14
8月	20	55	106	89	270	2	0	0	2
9月	20	49	112	93	274	3	0	44	47
10月	25	51	126	99	301	6	0	14	20
11月	23	41	128	94	286	3	0	9	12
12月	30	46	154	101	331	0	0	0	0
令和3年1月	34	46	133	92	305	0	0	119	119
2月	29	46	128	92	295	3	0	16	19
3月	33	54	153	110	350	4	0	0	4
計	296	551	1,347	1,124	3,318	30	0	402	432
月平均	24.7	45.9	112.3	93.7	276.5	2.5	0.0	33.5	36.0
前年度実績	417	727	1,726	1,177	4,047	16	2	433	451
前年度月平均	34.8	60.6	143.8	98.1	337.3	1.3	0.2	36.1	37.6

イ 新規患者主訴別状況

年間	再相談	他機関 連携 ・調整	他機関 への 訪問	計
理学療法	7	1	0	8
作業療法	2	4	0	6
聴能・言語	5	47	4	56
心理	33	35	3	71
計	47	87	7	141
月平均	3.9	7.3	0.6	11.8
前年度実績	18	58	8	84
前年度月平均	1.5	4.8	0.7	7.0

区分	人数(人)
言葉の遅れ	332
情緒・行動の問題	204
発達障害の疑い	40
発音不明瞭	92
運動発達の遅れ	26
対人関係の問題	25
集団行動の問題	100
吃音	33
聞こえの問題	18
他機関のすすめ	12
その他	58
計	940

※重複あり

ウ 新規患者年齢別  
利用状況

年齢	人数 (人)
0歳	5
1歳	40
2歳	188
3歳	168
4歳	122
5歳	107
6歳	27
7歳	2
8歳	1
9歳	4
10歳	0
11歳	1
12歳	0
13歳～	1
計	666

※前年度人数 807人

### <すぎのこルーム（障害児通所支援事業所）>

- 就学前の身体に障害のある児童が保護者とともに通園し、親子の信頼関係の形成や日常生活の基本動作訓練及び集団生活への適応訓練などを行いました。
- 保護者の要望や個々の障害特性、発達段階に応じた個別支援計画を作成し、それに基づき療育を行いました。
- 就学前の何らかの障害を持った児童及び障害の疑いのある児童が保護者とともに通園し、日常生活における基本動作訓練及び集団生活への適応訓練などを行う「児童発達支援事業」を実施しました。
- 児童の通う幼稚園や保育所等に保育士や専門スタッフが訪問し、課題を共有することにより集団生活に適応できるよう連携強化に努めました。
- 小学校3年生までの肢体不自由児を対象に千葉県地域生活支援事業（日中一時支援事業）を実施しました。

### 【重点項目】

- 集団保育、個別保育、行事、保護者支援等を充実させ、ニーズに応える支援を行うとともに、関係機関との連携を深めることで、契約者数の増加をめざし、日々の利用人数の向上につなげます。また、医療的ケアが必要な利用児に対し、医療関係機関との連携を図りながら、安心して過ごせるように努めます。

### 【結果】

- 今年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を実施しながら、集団保育、個別保育、行事、保護者支援等の充実を図ること、また関係機関（千葉リハビリテーションセンター、子ども病院、下志津病院のほか、各区保健福祉センター等）との連携を図りながら、契約者増に努めました。7月と10月に関係機関に出向き、直接相談窓口担当者と情報交換を行った結果、見学者12人の内、10人が契約となりました。

保護者支援では、要望を伺いながら保護者勉強会を6回開催しました。なかでも、今年度初めて開催した「摂食嚥下講習会」は千葉県歯科医師会障害福祉保健委員会の委員を講師に招き、年回4回（1回は緊急事態宣言の為、中止）行い、参加された保護者から来年度も継続して欲しいと要望をいただいております。また、療育内容や行事に関しても、利用者の安全を第一に業務の見直しを行いながら、一人ひとりの生活経験を広げていけるよう努めました。行事については、ビーバー号歯科検診、プール開き、家族運動会、芋ほり遠足、クリスマス会、卒園式等を実施し、個別保育では、保護者のニーズ確認を行いながら利用児の状態に応じた支援を行いました。

保護者からのアンケート結果からは、「療育内容はお子さまが楽しめるように工夫されていますか」の質問に対し、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた方が前期、後期ともに100%でした。また、「遊び別保育の内容はお子さまに合っていますか」の質問に対し、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた方が前期、後期とも100%、また「個別保育の内容にお子様は合っていますか」の質問に対し、前期100%、後期92%と高い評価を得ることができました。

医療型児童発達支援センターの実績では、契約数は22人。1日定員10人に対し、利用児は1日平均3.6人（昨年度3.7人）と減少しました。減少している要因としては、

- ① 契約人数の減少。昨年度は、最大23人でしたが、今年度は22人。契約人数の主な減少理由として、共働き世帯や核家族の増加といった親子通園が困難な背景が挙げられます。
- ② 併行通園児の大幅な増加。特に民間預かり型児童施設や保育所との併行通園児が増えており、併行通園児は週1～2回と曜日固定の利用となっています。
- ③ 体調不良や家庭の都合による当日キャンセルが多く占めています。
- ④ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、緊急事態宣言の影響により、登園を控える家庭が多くありました。特に4月は契約人数15人の内、実人数7人。4月の1日平均利用は1.9人と少ない状況でした。

なお、今年度の契約児（22人）の中には、人工呼吸器（睡眠時）経管栄養（胃ろう）（NGチューブ）2人、吸引1人、てんかん発作時の座薬挿入などを含め、医療的ケア児童8人の受け入れを行いました。

児童発達支援事業では、契約人数は、100人（昨年度135人）と減少しました。要因として、見学者の減少（今年度45名、昨年度69名）があげられます。近年、共働き世帯や核家族世帯の占める割合が増加しており、親子通園施設から民間預かり型施設へ推移している傾向が見られます。

保護者支援については、保護者の要望に基づき、言語聴覚士によるお話会を全グループ対象に実施しました。保護者アンケートでは、療育内容の満足度は前期、後期とも90%、言語聴覚士によるお話会の満足度も97%と高い評価をいただきました。次年度も、親子通園ならではの療育の充実に努めながら、各関係機関と連携を図り、契約増に努めていきたいと思っております。

#### 月別利用状況

月別	開所 日数 (日)	医療型児童発達 支援センター 定員10人		児童発達支援事業 定員10人		日中一時支援事業 定員1人		兄弟姉妹 預かり事業	
		実人員 (人)	延べ人員 (人)	実人員 (人)	延べ人員 (人)	実人員 (人)	延べ人員 (人)	実人員 (人)	延べ人員 (人)
令和2年4月	21	7	40	71	88	1	1	0	0
5月	18	9	38	69	109	1	1	0	0
6月	22	16	92	87	170	1	1	0	0
7月	21	17	97	90	178	0	0	1	1
8月	20	14	75	91	150	1	1	2	4
9月	20	16	62	92	173	0	0	0	0
10月	22	15	56	91	173	0	0	0	0
11月	19	16	85	91	146	0	0	0	0
12月	20	15	90	91	163	1	1	0	0
令和3年1月	19	14	58	94	173	0	0	0	0
2月	18	18	72	99	173	0	0	0	0
3月	23	20	107	98	158	0	0	1	1
計	243	—	872	—	1,854	—	5	—	6
月平均	—	14.8	72.7	88.7	154.5	0.4	0.4	0.3	0.5
前年度実績	239	—	872	—	1,962	—	2	—	10
前年度月平均	—	13.9	72.7	112.2	163.5	0.2	0.2	0.6	0.8

### ＜やまびこルーム（障害児通所支援事業所）＞

- 聴覚に障害を持つ児童がコミュニケーションの中から言語を主体的に獲得し、人と関わる力を高めていけるよう親子を支援しました。
- 個別療育と集団療育を行い、親子のコミュニケーションが円滑になるよう遊びを通して支援しました。また、集団療育では様々な体験活動や遊びを通して、言語の獲得を図るとともに子ども同士の関わりを促しました。個別療育では、聴力検査と補聴器のフィッティングを行い、聴覚を最大限に活用しつつ、個々の発達や聴力に応じた言語・コミュニケーション指導を実施しました。
- 保護者に対して、個別・集団療育の中で相談に応じるとともに、難聴者の体験談や有識者の講演を聴く機会を設け、聴覚障害についての理解を深め、ありのままの我が子を肯定的に受けとめて、子育てができるよう支援しました。
- 在園児の通う幼稚園や保育所等を訪問し情報交換をするとともに、幼稚園や保育所等の先生にやまびこルームの療育を参観していただくことにより、地域での集団生活の支援に努めました。
- やまびこルームの周知を図り、難聴の診断を受けた児童がスムーズに療育につながるよう、関係する医療機関や保健福祉機関・教育機関等を対象とした公開療育を実施しました。

### 【重点項目】

- 新生児スクリーニング検査による難聴児の超早期発見に伴い、0歳児を中心とした契約者数の増加を図ります。また、新たに契約した低年齢児（0～2歳児）の保護者に対し心理的ケア等を丁寧に行い、安心して利用できる受け入れ体制を整え、利用実績の向上につなげます。

### 【結果】

- 千葉県こども病院を中心とした医療機関、千葉聾学校及び筑波大附属聴覚特別支援学校の乳幼児相談部との連携により、契約者数は昨年度を上回りました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団活動において、利用者数の上限を設ける、行事の実施方法の見直しを行うなどをしたため、延べ利用者数、1日の利用人数ともに、昨年度の実績を下回っていますが、1月～3月では、1日の利用人数は昨年度平均を上回り、日々定員20人を超える日が月に数日できるようになりました。

登園してくること自体が厳しかった今年度において、契約者数が増えたことの要因として、関係機関と継続して連携がとれていたことが挙げられます。新規契約者24人（新型コロナウイルス感染症感染防止のため休園、契約解除の後、再契約2人を含む）の内訳は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、県内聾学校が休校となっていた4～6月の期間を含め、千葉県こども病院で難聴診断を受け、紹介された0～5歳児が14人（うち0～1歳児10人）、千葉聾学校、及び筑波大学附属聴覚特別支援学校の乳幼児相談部から紹介された1～3歳児が8人となっています。聾学校乳幼児相談部から紹介されてくるケースは、地域の幼稚園へのインテグレーションを目的とする児だけでなく、母が就労のため、毎日親子通学となる幼稚園部へは進学しないという理由の児も年々増える傾向にあります。（今年度は半数の4

人) 従来の聴力・言語力による、聾学校幼稚部とやまびこルーム（並行通園による地域へのインテグレーション）の住み分けは崩れつつあり、より一層の聾学校乳幼児相談部との連携が今後の課題となってきます。保護者支援に関しては、今年度オンラインを併用して、保護者勉強会、保護者セミナーを実施し、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、登園を控える家庭に対し、オンラインでの個別指導の実施を始めました。保護者勉強会、保護者セミナーにおいては、大部分の保護者がオンラインで参加し、児の登園がないため、日々の利用人数には直接反映しませんが、セミナーにおいては、保護者・園児合わせて延べ248人が参加（昨年度155人）保護者勉強会は同様に延べ120人が参加（昨年度59人）しました。ともに昨年度の実績を大きく上回り、保護者が難聴についての理解を深め、療育に前向きな姿勢で取り組むことの支援に役立ち、日々の指導への出席率の向上へとつながったと思われまます。次年度も、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、集団活動、行事等は従来とは違う方法、内容で実施せざるを得ず、その点について、保護者に理解を求めるとともに、保護者からの新たなニーズに応え、保育内容の充実を図っていきます。

#### 月別利用状況

月別	開所 日数 (日)	福祉型児童発達 支援センター 定員20人		兄弟姉妹 預かり事業	
		実人員 (人)	延べ人員 (人)	実人員 (人)	延べ人員 (人)
令和2年4月	21	55	87	1	1
5月	18	57	122	0	0
6月	22	59	226	0	0
7月	21	60	233	0	0
8月	20	63	229	4	16
9月	20	65	241	0	0
10月	22	69	273	0	0
11月	19	72	249	0	0
12月	20	75	281	2	3
令和3年1月	19	75	283	2	3
2月	18	77	283	0	0
3月	23	76	306	3	4
計	243	—	2,813	—	27
月平均	—	66.9	234.4	1.0	2.3
前年度実績	240	—	2,982	—	68
前年度月平均	—	63.3	248.5	3.4	5.7

### <いずみの家（障害福祉サービス事業所）>

- 就労移行支援事業  
ご利用者の就労意欲や希望に沿い、施設内外での諸活動を通し、働くことの意味を理解し、喜びを感じられるように就労へ向けての支援を行い2人が就職しました。
- 就労継続支援B型事業  
働くことを通して、自立した社会の一員としての生きがいを感じながら、楽しく仕事ができるように支援を行いました。
- 日中一時支援事業においては新型コロナウイルス感染症感染予防のため、外部の方の利用を一時控えていただき年間で1人の利用に留まりました。
- 新型コロナウイルス感染症感染予防のため当施設利用者のみを対象として土・日曜日に講座等を開催し、地域生活における余暇活動の機会を提供しました。

### 【重点項目】

- 就労準備支援や実習を充実させ、一般就労への移行率向上を図るとともに、工賃の安定支給に向け、現在行っている様々な受注作業の収益率の向上や自主事業における安定的な収益確保に努めます。

### 【結果】

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大により職場実習や見学が制限される中、就労移行支援事業において定員6人に対し2人の就職が決まり、就労移行率の目標である定員の33%（全国平均27%）を達成することができました。主な要因としては、法定雇用率の改定や千葉障害者キャリアセンターやハローワーク等関係機関との連携強化が挙げられます。

令和2年度も受注作業として①箱折り、②封筒・薬袋等の袋折り、③保冷材の箱詰め、④ハンガー組立てを柱に行いました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症感染拡大による経済の影響により受注作業の激減が予想されたため当初より優先調達推進法関連による県庁や市役所、関連団体からの印刷・製本作業の受託や自主作業であるポロシャツのプリント作業を重点的に実施しました。また、スポットですがマスクの検品作業を開拓し取り組むことでコロナ特需を得ることとなりました。自主生産活動の資材であるポリ袋を活用した防護服作りや他施設から依頼されたペンキ塗りなどあらゆる作業を可能な限り請け負いました。その結果、収入は大幅に上がりましたが受注作業での売り上げが減少したため材料費等の経費の比率が増し、支出も倍に高まりました。ただ利用者の工賃として支払われる額は昨年度の1.2倍弱増加することとなり工賃の安定支給につながりました。受注作業に関しては現在の発注減の状況が続くようであれば既存の業者の見直しを図り安定した作業量確保に努めます。

### 収支差額

	令和2年度	平成31年度	前年度対比
収入	2,267万円	1,523万円	+744万(148.9%)
支出	1,257万円	632万円	+625万円(198.9%)
計	1,010万円	891万円	+119万円(113.4%)

工賃

	令和2年度	平成31年度	前年度対比
平均月額	26,666円	22,633円	+4,033円(117.8%)

※全国平均額：16,369円、千葉県平均額：15,215円

ア 月別利用状況

月別	開所 日数 (日)	就労移行支援 定員6人		就労継続支援B型 定員34人		日中一時支援事業 定員3人	
		実人数 (人)	延人数 (人)	実人数 (人)	延人数 (人)	実人数 (人)	延人数 (人)
令和2年4月	21	4	58	29	450	0	0
5月	18	4	48	27	404	0	0
6月	22	4	82	29	584	0	0
7月	21	4	69	29	566	0	0
8月	20	4	73	29	471	0	0
9月	20	3	60	30	529	0	0
10月	22	3	61	30	587	0	0
11月	19	2	38	30	491	0	0
12月	20	1	20	29	509	0	0
令和3年1月	19	1	19	29	456	0	0
2月	18	1	18	29	452	0	0
3月	23	1	23	28	578	1	1
計	243	—	569	—	6,077	—	1
月平均	—	2.7	47.4	29.0	506.4	0.1	0.1
前年度実績	239	—	875	—	6,294	—	69
前年度月平均	—	3.8	72.9	29.3	524.5	1.8	5.8

イ 土日余暇支援利用状況

事業名	日程	開催 回数	参加 延人数
①レクリエーション・スポーツ	①令和2年11月14日(土)	2	17
②映画鑑賞(ポップコーン作り)	②令和2年12月19日(土)		

### ＜ふれあいの家（身体障害者福祉センター）＞

- 身体障害者の福祉を向上させるため、各種の相談に応ずるとともに、機能訓練や社会適応訓練、地域交流等を実施しました。
- 書道・絵手紙・陶芸等の創作的活動、卓球・ボッチャ・サウンドテーブルテニス、ふれあいフェスティバル、バス旅行等のスポーツ・レクリエーション事業及び社会適応訓練、点字・手話・音訳・要約筆記などのボランティア養成講習会等を開催しました。
- 福祉バス「たいよう号」と福祉カー「ゆうあい号」の無料貸し出しを行い、障害者の社会参加を促進しました。
- 視覚障害者に対する情報提供の一環として「声の市政だより」の発送事業を行いました。
- 障害者福祉センターとの連携により、定期的な会議を行い、同種の施設間による相乗効果を図りました。

### 【重点項目】

- 障害者に対する各種支援を図るとともに、新規利用者及び幅広い年齢層の利用者拡大のため、ニーズに応じた教室やイベントを開催します。  
また、市内の障害福祉事業所やボランティア、地域住民とのつながりを強化し、利用者の自主的な活動の促進と地域資源としての活性化に努めます。

### 【結果】

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、主催事業の中止や利用人数の制限等により、前年度の48,801人から17,436人(△64%)と大幅に利用者数が減少しました。

最初の緊急事態宣言に伴う閉館中は、電話による相談対応のほか、機能訓練利用者へは、電話や郵送などにより、自宅でできる訓練課題を提供するなど、機能の維持に努めました。

6月から再開した主催事業、施設貸出では、密集、密接を避けるため、各部屋の利用定員を定めたほか、換気、消毒を徹底し、パーテーションを相談室や教室に設置・貸し出し、飛沫の飛散防止に努めました。利用者の拡大は成果をあげられませんでした。可能な限り中止することなく振り替えや参加者を分散しての開催、代替企画、縮小して対応しました。再開後の年間教室では、活動場所に比べて参加者が多い教室は、利用者をA・B班に分け、隔回の参加での実施や、音楽療法教室では、発声や合唱を控え、音楽を聴きリラックスする受動的音楽療法を取り入れるなど感染予防対策の工夫をして行いました。

春のバス旅行は中止となりましたが、秋のバス旅行は3密を避けるためバスを使用せず、プチ旅行に変更し、稲毛海浜公園の開放された空間でのストレッチ体操をプログラムし実施しました。

ボランティア養成講座の手話講習会では、例年の初級編・中級編だけでなく初めて応用編を開催しました。

「声の市政だより」はボランティア団体の自宅での録音協力もあり、緊急事態宣言中の臨時版を含め、全ての号の発送を行いました。感染症対策は次年度も継続し

なければなりません、その中でも新たな利用形態、利用方法の工夫に取組み、様々な方が利用しやすく、また地域の資源として利用されるように努めます。

ア 月別利用状況

月別	開所 日数	生活・訓練・ 健康相談 (人)	機能回復 訓練 (人)	巡回訓練		福祉バス			福祉カー	
				日数 (日)	人数 (人)	日数 (日)	団体数 (団体)	人数 (人)	日数 (日)	人数 (人)
令和2年4月	25	60	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	24	40	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	25	113	15	0	0	1	1	15	0	0
7月	25	131	18	0	0	6	6	59	2	6
8月	25	109	18	0	0	2	1	26	2	4
9月	25	116	20	0	0	2	2	21	0	0
10月	27	135	23	0	0	8	8	134	8	22
11月	23	114	22	0	0	7	6	113	0	0
12月	24	136	25	1	1	2	2	19	0	0
令和3年1月	23	110	23	2	2	3	3	44	0	0
2月	22	130	20	1	1	3	3	43	0	0
3月	25	106	22	2	2	10	10	182	14	66
計	293	1,300	206	6	6	44	42	656	26	98
月平均	—	108.3	17.2	0.5	0.5	3.7	3.5	54.7	2.2	8.2
前年度実績	287	1,493	684	12	12	159	147	4,484	114	495
前年度月平均	—	124.4	57.0	1.0	1.0	13.3	12.3	373.7	9.5	41.3

月別	ヒアリンググループ		声の市政だより		体育室		その他の施設利用	
	団体数 (団体)	日数 (日)	日数 (日)	部数 (部)	団体数 (団体)	人数 (人)	団体数 (団体)	人数 (人)
令和2年4月	0	0	2	150	0	0	26	103
5月	0	0	2	150	0	0	23	79
6月	0	0	1	75	35	421	97	702
7月	1	1	1	75	33	411	150	1,105
8月	0	0	1	74	29	387	128	733
9月	0	0	1	74	29	410	136	1,004
10月	0	0	1	74	34	508	168	1,117
11月	0	0	1	74	29	435	135	937
12月	0	0	2	148	32	440	144	959
令和3年1月	0	0	2	146	6	93	60	341
2月	0	0	1	73	0	0	68	317
3月	0	0	1	73	13	189	125	740
計	1	1	16	1,186	240	3,294	1,260	8,137
月平均	0.1	0.1	1.3	98.8	20.0	274.5	105.0	678.1
前年度実績	114	495	14	1,092	389	10,099	2,059	22,479
前年度月平均	9.5	41.3	1.2	91.0	32.4	841.6	171.6	1,873.3

イ 主催事業別参加状況

(ア) 創作的活動事業

事業名	期間	予定回数→ 開催回数(回)	参加延人数 (人)
書道教室	6～3月	18	258
パソコン教室	6～3月	18	295
アートDEふれあい教室 ※	6～3月	18	205
組紐教室 ※	6～3月	18	133
絵手紙教室	6～3月	10	150
陶芸教室 ※	6～3月	10	146
音楽療法教室 ※	6～3月	10→ 8	103
計	—	100	1,290
前年度実績	—	111	1,909

※参加者を半分に分け、隔回の参加

令和2年4月8日～令和2年5月27日 緊急事態宣言に伴い、主催事業中止

事業名	期間	開催回数 (回)	出品作品数 (点)
千葉県障害者作品展	10月7～9日	1	68
ふれあいの家作品展	2月9～21日	1	174
計	—	2	242
前年度実績	—	2	240

(イ) 社会適応訓練事業

事業名	期間	開催回数 (回)	参加延人数 (人)
視覚障害者プチ旅行	10月	1	8
肢体・内部・聴覚障害者プチ旅行	11月	1	9
介護予防勉強会	6、7月	2	18
介護技術勉強会	9～12月	4	46
OT短期講座 心も体もリフレッシュしよう		2	31
計	—	10	112
前年度実績	—	19	434

(ウ) ボランティア養成事業

事業名	期間	予定回数→ 開催回数(回)	参加延人数 (人)
要約筆記講習会	6、7月	10→ 7	49
音訳講習会	10～12月	10	202
初級手話講習会	9～10月	16	419
中級手話講習会	11、12月	16	426
手話講習会応用編	1月	6	108
点字講習会	1～3月	10	191
点字講習会(令和元年度受講者補講)	7～9月	8	108
中級手話講習会応用編(令和元年度受講者補講)	7、8月	8	108
計	—	81	1,611
前年度実績	—	78	2,650

## (エ) スポーツ・レクリエーション事業

事業名	期間	予定回数→ 開催回数(回)	参加延人数 (人)
卓球教室 ※	6～12月	18→ 13	209
ボッチャ教室 ※	6～12月	10→ 8	116
サウンドテーブルテニス教室 ※	6～3月	10→ 8	77
ふれあいレク教室 ※	6～3月	18→ 14	263
ふれあいミニフェスティバル	2月	1	61
計	—	44	726
前年度実績	—	65	4,328

※参加者を半分に分け、隔回の参加

令和2年4月8日～令和2年5月27日 緊急事態宣言に伴い、主催事業中止

令和3年1月8日～令和3年3月21日 緊急事態宣言に伴い、スポーツ系の教室中止

## ウ 月別施設利用人数集計

月別	相談・訓練事業利用人数		施設貸出利用人数		主催事業参加人数		計	
	団体数 (団体)	人数 (人)	団体数 (団体)	人数 (人)	団体数 (団体)	人数 (人)	団体数 (団体)	人数 (人)
令和2年4月	-	60	26	103	-	0	26	163
5月	-	40	23	79	-	0	23	119
6月	-	128	133	1,138	-	296	133	1,562
7月	-	149	190	1,581	-	323	190	2,053
8月	-	127	158	1,150	-	330	158	1,607
9月	-	136	167	1,435	-	499	167	2,070
10月	-	158	210	1,781	-	551	210	2,490
11月	-	136	170	1,485	-	476	170	2,097
12月	-	162	178	1,418	-	506	178	2,086
令和3年1月	-	135	69	478	-	276	69	889
2月	-	151	71	360	-	244	71	755
3月	-	130	148	1,177	-	238	148	1,545
計	-	1,512	1,543	12,185	-	3,739	1,543	17,436
月平均	-	126.0	128.6	1,015.4	-	311.6	128.6	1,453.0
前年度実績	-	2,189	2,588	37,557	-	9,055	2,588	48,801
前年度月平均	-	182.4	215.7	3,129.8	-	754.6	215.7	4,066.8

## ※ 相談・訓練事業利用人数

＝月別利用状況のうち、「生活・訓練・健康相談」、「機能回復訓練」及び「巡回訓練」の人数計

## 施設貸出利用人数

＝団体数 月別利用状況のうち、「福祉バス」、「ヒアリンググループ」、「体育室」及び「その他の施設利用」の団体数

＝人数 月別利用状況のうち、「福祉バス」、「福祉カー」、「体育室」及び「その他の施設利用」の人数計

## 主催事業参加人数

＝「創作的活動事業」、「社会適応訓練事業」、「ボランティア養成事業」及び「スポーツ・レクリエーション事業」の人数計

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等による実施回数、利用者数の減少の影響について

1 緊急事態宣言(R2.4.7~5.25)での中止(R2.4.8~5.27)による影響

生活相談・機能訓練等利用者数の減少の影響(推計)

生活相談・機能訓練等	年度予定			実施		影響	備考
	日数	定員	延べ人数	日数	延べ人数	人数	
生活・訓練・健康相談	45日		281人	49日	100人	△ 181人	※
機能回復訓練・巡回訓練	45日		143人	49回	0人	△ 143人	※

※年度予定はR1年度4・5月実績数

2 緊急事態宣言(R2.4.7~5.25)での中止(R2.4.8~5.27)及び感染拡大等による影響

福祉バス等に係る利用者数の減少の影響(推計)

福祉バス・カー貸出	年度予定		実施		影響	備考
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
福祉バス	32回	957人	0回	0人	△ 957人	※1
	115回	3,527人	42回	656人	△ 2,871人	※2 乗車人数制限あり
福祉カー	29回	123人	0回	0人	△ 123人	※1
	91回	372人	26回	98人	△ 274人	※2
計	267回	4,979人	68回	754人	△ 4,225人	

※1 年度予定回数・延べ人数はR1年4・5月実績数

※2 年度予定回数・延べ人数はR1年6月~R2年3月実績数

3 感染予防対策及び緊急事態宣言(R3.1.7~3.21)での運動系講座中止等による影響

主催事業の開催変更状況及び利用者数の減少の影響(推計)

教室事業	年度予定			実施		影響	備考
	回数	定員	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
書道教室	18回	12	216人	18回	216人	0人	
パソコン教室	18回	12	216人	18回	216人	0人	
アートDEふれあい教室	18回	15	270人	18回	135人	△ 135人	定員を半分に分けて隔回で開催
組紐教室	18回	10	180人	18回	90人	△ 90人	定員を半分に分けて隔回で開催
絵手紙教室	10回	14	140人	10回	140人	0人	
陶芸教室	10回	15	150人	10回	75人	△ 75人	定員を半分に分けて隔回で開催
音楽療法教室	10回	20	200人	8回	80人	△ 120人	定員を半分に分けて隔回で開催
卓球教室 ※1	18回	20	360人	13回	130人	△ 230人	定員を半分に分けて隔回で開催
ボッチャ教室 ※1	10回	18	180人	8回	72人	△ 108人	定員を半分に分けて隔回で開催
ふれあいレク教室 ※1	18回	30	540人	14回	210人	△ 330人	定員を半分に分けて隔回で開催
サウンドテーブルテニス教室 ※1	10回	20	200人	8回	100人	△ 100人	定員を半分に分けて隔回で開催
写真撮影会	2回	30	30人	0回	0人	△ 30人	春・秋ともに中止
写真講習会	2回	30	30人	0回	0人	△ 30人	春・秋ともに中止
短期教室 ※2	26回		558人	0回	0人	△ 558人	R1年度と同等開催予定も中止
計	188回		3,270人	143回	1,464人	△ 1,806人	

※1 緊急事態宣言(R3.1.7~3.21)での中止あり

※2 短期教室年度予定は昨年度実績

#### 4 感染予防対策による実施方法の変更、人数制限及び中止等による影響

##### 主催事業の開催変更状況及び利用者数の減少の影響(推計)

社会適応訓練事業	年度予定			実施		影響	備考
	回数	定員	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
聞こえにくくなった方の勉強会	10回	30	300人	0回	0人	△ 300人	応募者寡少のため中止
視覚障害者バス旅行	2回	30	60人	1回	8人	△ 52人	春中止、秋プチ旅行
肢体・内部・聴覚障害者バス旅行	2回	60	120人	1回	9人	△ 111人	春中止 <sup>※1</sup> 、秋プチ旅行
OT短期「心も体もリフレッシュしよう」				1回	14人	14人	※1春の肢体・内部・聴覚障害者バス旅行の代替
応急処置勉強会	1回		20人	0回	0人	△ 20人	
計	15回		500人	3回	31人	△ 469人	

ボランティア養成事業	年度予定			実施		影響	備考
	回数	定員	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
要約筆記講習会	10回	20	200人	7回	140人	△ 60人	緊急事態宣言発令により回数減での開催
音訳講習会	10回	10	100人	10回	100人	0人	
初級手話講習会	16回	20	320人	16回	320人	0人	
中級手話講習会	16回	20	320人	16回	320人	0人	
点字講習会	10回	10	100人	10回	100人	0人	
計	62回		1,040人	59回	980人	△ 60人	

交流・レクリエーション事業	年度予定			実施		影響	備考
	回数	定員	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
地域交流会	1回		26人	0回	0人	△ 26人	R1年度と同等開催予定も中止
体験会・交流会	3回		169人	0回	0人	△ 169人	R1年度と同等開催予定も中止
ふれあいフェスティバル	1回		2,851人	1回	61人	△ 2,790人	規模を縮小して実施
計	5回		3,046人	1回	61人	△ 2,985人	

※年度予定はR1年度実績数

#### 5 緊急事態宣言(R2. 4. 7～5. 25)での中止 (R2. 4. 8～5. 27)及び感染拡大等による影響

##### 施設貸出に係る利用者数の減少の影響(推計)

施設貸出	年度予定		影響	備考
	団体数	延べ人数	人数	
体育室貸出	66回	1,398人	△ 1,398人	4・5月 ※1
	81回	1,422人	△ 1,422人	6～3月 ※2 利用人数制限あり
その他施設貸出	328回	3,946人	△ 3,946人	※1
計	475回	6,766人	△ 6,766人	

※1 団体数はR2年4・5月予約キャンセル数、延べ人数はH31年4・5月実績数

※2 団体数はR3年1月7日～3月21日予約キャンセル数、延べ人数はR2年1・2月実績数+3月×1/2実績数  
緊急事態宣言(R3. 1. 7～3. 21)での運動系利用での貸出中止あり

※ 体育室等利用団体における行事の中止状況(上記キャンセル数に含まず)

千葉市中途失聴・難聴者協会総会	サウンドテーブルテニススポーツ大会
スペシャルオリンピック	千葉市身体障害者福祉会体育祭
スペシャルオリンピック(バスケ)	千葉市手をつなぐ育成会(クリスマス会)

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大による施設運営対応状況

- ・ 令和2年4月1日～令和2年5月27日  
主催事業の中止(45日間)
- ・ 令和2年4月1日～令和3年3月31日  
カラオケ、コーラスの中止(通年)
- ・ 令和2年4月8日～令和2年5月27日  
緊急事態宣言に伴う対応として、音訳・点訳ボランティア活動を除き休館(45日間)
- ・ 令和2年5月28日～令和3年3月31日  
主催事業、施設貸出、たいよう号運行の利用人数等を制限し再開(248日)
- ・ 令和3年1月9日～令和3年3月21日  
緊急事態宣言に伴う対応としてスポーツ系の教室、施設貸出の中止(58日)

### <発達障害者支援センター>

#### ○ 千葉県発達障害者支援センター運営事業

自閉症やアスペルガー症候群、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）等の発達障害を有する障害児者に対し、発達障害に関する様々な問題について本人及びそのご家族、関係機関からの相談に応じ、必要な支援及び助言を行いました。また、関係機関への職員の講師派遣や外部から講師を招き、市民対象の講演会を開催するなど、発達障害に関する普及・啓発等を実施しました。

#### ○ 千葉県発達障害等に関する巡回相談事業

市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園において、発達障害等が疑われる児童を早期に発見のうえ、適切な支援機関につなげることを目的に各施設を訪問し、保護者や施設職員との個別相談を実施しました。

### 【重点項目】

#### ○ 常勤職員1人の増員に伴い、初回相談までの待機時間を1か月半から1か月以内の短縮に努めます。

さらに普及啓発の一環として、「発達障害基礎講座」「支援者育成実務講座」等、対象・目的に応じた出前講座を実施します。また、出張相談会などの事業の周知方法を改善し、高校生以上の機関支援への強化に努めます。

巡回相談事業は、広報活動の充実を図ることで、支援件数の増加に努めます。対象年齢を年少から年長クラスまでの3年保育期間で実施するほか、相談後6か月経過を目安に、フォローアップ巡回相談を併せて実施します。

### 【結果】

#### ○ 千葉県発達障害者支援センター運営事業では、昨年度に引き続き、電話を受けられる体制が維持できており、実支援人数は13人増加し、延支援件数は75件増加しました。初回相談までの待機時間は4月の緊急事態宣言解除後に相談希望者が増加したこともあり、昨年度と同様1か月半程度となりました。特に発達支援員の待機日数が長くなっており、令和3年度に発達支援員が配属されることで改善を図っていきます。

また、普及啓発の一環として発達障害基礎講座8件、支援者育成実務講座4件の依頼がありました（内5回は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響のため中止）。事業の周知方法の改善により、高校生以上の出張相談の依頼はありませんでしたが、電話相談は15件ありました。高校生以上の機関支援に関しては、電話など気軽に相談できる方法も周知をして、高校生以上の機関支援の強化に努めます。

#### ○ 千葉県発達障害等に関する巡回相談事業（すくすくサポート）は、対象年齢を年少（4歳児クラス）～年長（6歳児クラス）までとし、障害の診断（傾向・疑い含む）の有無を問わずに実施しました。

4月の緊急事態宣言中は巡回相談事業を休止していたこともあり、巡回実施数は延べ100件（前年度120件）、対象児数は延178人（前年度203人）であり、昨年度と比べ減少しました。相談後6か月経過を目安にフォローアップ巡回相談を行い、対象児数は延べ64人でした。

ア 月別利用状況(千葉市発達障害者支援センター運営事業)

事業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度実績
(1)実支援人数・延支援件数	実支援人数	119	64	89	65	46	51	57	50	50	40	36	46	713	700
	延支援件数	196	186	288	245	227	245	280	238	256	243	219	302	2,925	2,752
① 年齢層	0～3歳(幼児期前期)	1	1	2	1	0	2	2	2	2	3	2	2	20	26
	4～6歳(幼児期後期)	4	4	6	5	5	5	6	4	8	4	3	2	56	54
	7～12歳(小学生)	10	9	29	15	9	9	6	1	9	5	5	6	113	104
	13～15歳(中学生)	12	4	5	10	3	1	4	5	2	3	6	2	57	72
	16～18歳	9	4	10	4	4	4	3	4	2	1	4	2	51	64
	19～39歳	60	29	20	20	21	21	29	24	23	20	13	25	305	241
	40歳以上	16	8	12	1	2	2	5	6	2	1	3	5	63	84
	不明	7	5	5	9	2	7	2	4	2	3	0	2	48	55
② 障害種別 (医師による診断名でカウント)	自閉症	16	9	19	12	4	1	4	2	2	4	6	3	82	85
	アスペルガー症候群	21	7	7	3	2	0	1	2	2	0	0	1	46	54
	広汎性発達障害	24	6	4	1	2	3	4	3	0	1	2	3	53	79
	注意欠陥多動性障害(AD/HD)	19	7	10	9	7	7	3	0	4	3	3	3	75	96
	学習障害(LD)	2	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	7	17
	その他(発達性言語障害・協調運動障害等)	5	1	2	1	4	1	7	1	0	1	1	0	24	19
	不明(未診断含む)	32	33	47	38	26	39	38	40	42	31	24	36	426	350
③ 相談方法	来所	33	3	112	106	105	100	118	96	112	102	87	131	1,105	1,413
	訪問	2	0	1	3	1	4	1	1	3	4	0	2	22	26
	電話	156	178	173	134	120	133	158	141	139	136	131	162	1,761	1,255
	その他(FAX・メール等)	5	5	2	2	1	8	3	0	2	1	1	7	37	58
④ 相談内容 (重複可)	相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	5	2	9	10	7	6	7	7	10	6	8	9	86	81
	現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい	119	119	220	188	175	172	184	161	176	177	153	206	2,050	1,657
	利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)	2	0	1	3	0	0	5	0	2	3	1	0	17	26
	診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	6	7	3	8	5	8	7	9	6	2	4	9	74	109
	現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	6	8	10	14	11	18	14	7	18	11	12	24	153	162
	進路や将来の生活に関する相談をしたい	3	3	3	8	4	4	10	10	8	10	6	19	88	85
	対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)	9	0	1	3	3	0	4	6	5	5	3	5	44	87
	今後の就労について相談したい	2	10	9	8	4	13	26	15	12	8	8	18	133	104
	現在勤めている職場に関する相談をしたい	14	13	16	15	13	9	10	12	13	19	16	11	161	126
	その他	44	38	37	18	25	29	28	34	32	25	26	28	364	489
(2)医学的診断、心理学的判定	実診断人数													0	0
	実判定人数													0	0
(3)夜間等の緊急時保護、行動障害による一時保護	実支援人数													0	0
	延支援件数													0	0
(4)相談支援・発達支援に伴う情報共有等(調整会議)		1	0	4	3	2	3	3	4	2	2	4	0	28	23
(5)相談支援・発達支援に伴う関係機関職員への助言(機関コンサルテーション)		21	26	20	31	19	39	21	29	26	28	20	33	313	291

1. 相談支援・発達支援

(\*下記2.を除くすべてのケース)

事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度 実績	
2. 相談支援・就労支援  (* 就労支援に重点を置いた支援が行われたケース)	(1) 実支援人数・延支援件数	実支援人数	49	14	27	14	13	9	6	6	12	7	6	8	171	171	
		延支援件数	89	74	112	95	86	97	81	83	85	84	77	90	1,053	1,151	
	① 年齢層	18歳以下	0	0	2	2	3	1	1	0	2	1	1	2	15	10	
		19～39歳	30	9	16	9	8	8	4	3	9	3	4	3	106	111	
		40歳以上	19	5	7	3	2	0	1	2	1	3	1	3	47	46	
		不明	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4	
	② 障害種別 (医師による診断名でカウント)	自閉症	3	0	2	2	2	0	1	1	0	0	2	1	14	18	
		アスペルガー症候群	15	5	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	29	36	
		広汎性発達障害	16	3	2	3	1	2	1	1	3	0	1	0	33	39	
		注意欠陥多動性障害(AD/HD)	8	3	5	1	0	1	2	2	3	3	1	2	31	31	
		学習障害(LD)	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	
		その他(発達性言語障害・協調運動障害等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		不明(未診断含む)	5	3	11	6	10	6	2	2	5	4	2	5	61	43	
	③ 相談方法	来所	15	6	56	40	43	48	45	41	40	36	47	45	462	635	
		訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3	2	
電話		68	64	54	54	41	45	35	41	43	47	30	39	561	421		
その他(FAX・メール等)		6	4	2	1	2	4	1	1	1	1	0	4	27	93		
④ 相談内容 (重複可)	相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	0	0	2	1	4	3	4	5	3	8	3	3	36	54		
	現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい	42	45	50	41	40	47	51	47	44	42	52	48	549	528		
	利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)	1	0	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	9	4		
	診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	2	0	2	3	3	0	2	1	1	4	2	0	20	20		
	現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	0	0	2	3	0	3	5	0	0	0	2	1	16	38		
	進路や将来の生活に関する相談をしたい	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	1	6	5		
	対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)	0	0	1	3	3	3	1	0	4	3	1	1	20	17		
	今後の就労について相談したい	8	7	13	10	5	7	3	9	8	12	12	3	97	100		
	現在勤めている職場に関する相談をしたい	36	15	45	32	31	38	34	37	34	29	27	43	401	493		
	その他	10	9	6	8	10	10	1	4	5	3	1	7	74	78		
(2) 相談支援・就労支援に伴う情報共有等(調整会議)	1	0	3	1	1	0	1	0	1	0	2	2	12	29			
(3) 相談支援・就労支援に伴う関係機関職員への助言(機関コンサルテーション)	20	9	14	14	11	16	11	17	11	10	8	11	152	240			
(4) 職場拡大のための企業等への啓発活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3. 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修	(1) センター主催又は共催で企画した研修	実施回数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3		
		延参加人数	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	36	567	
	(2) 外部から講師依頼を受けた研修(講師派遣)	実施回数	0	1	18	20	16	17	20	21	19	12	14	26	184	214	
		延参加人数	0	1	44	51	42	49	93	92	52	28	37	60	549	1,004	
(3)((1)及び(2)の再掲)教育関係者との合同研修会	実施回数	0	0	1	1	1	1	1	4	0	2	3	0	14	33		
	延参加人数	0	0	1	2	11	8	20	79	0	5	11	0	137	896		
4. 関係施設・関係機関等の連携	(1) 連絡協議会の開催状況	実施回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	(2) 障害者総合福祉法第89条協議会等への参加状況	参加回数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	(3) 他の協議会への参加状況	参加回数	0	0	3	2	1	1	1	0	0	2	4	1	15	11	

イ 千葉市発達障害等に関する巡回相談事業

(ア) 訪問施設数について

(か所)

施設種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度実績	
合 計	延べ数	0	1	11	11	7	11	11	10	13	5	8	12	100	120	
	実 数	0	1	9	8	4	6	10	9	10	4	7	6	74	66	
内 訳	保 育 所	延べ数	0	1	3	1	4	4	4	3	3	2	2	6	33	33
		実 数	0	1	2	1	2	4	4	3	2	2	2	2	25	20
	民間保育園	延べ数	0	0	4	3	2	1	2	4	7	2	2	6	33	35
		実 数	0	0	4	2	1	0	2	4	6	2	2	4	27	22
	幼 稚 園	延べ数	0	0	3	5	1	4	1	3	3	0	2	0	22	35
		実 数	0	0	2	3	1	2	1	2	2	0	2	0	15	16
	その他	延べ数	0	0	1	2	0	2	4	0	0	1	2	0	12	17
		実 数	0	0	1	2	0	0	3	0	0	0	1	0	7	8

(イ) 発達障害児等の発見数について

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度実績
対象幼児の人数(延べ数)		0	1	12	27	10	24	24	14	20	10	17	19	178	203
内 訳	保 育 所	0	1	4	2	4	7	6	3	5	5	2	11	50	47
	民間保育園	0	0	4	7	5	1	5	4	10	3	4	8	51	56
	幼 稚 園	0	0	3	15	1	11	2	7	5	0	5	0	49	65
	そ の 他	0	0	1	3	0	5	11	0	0	2	6	0	28	35
支援機関へ紹介した人数		0	0	6	10	6	12	10	5	13	6	7	7	82	68
内 訳	保 育 所	0	0	4	0	1	4	4	1	5	4	1	3	27	17
	民間保育園	0	0	1	4	4	0	2	2	5	1	2	4	25	15
	幼 稚 園	0	0	1	5	1	7	0	2	3	0	2	0	21	19
	そ の 他	0	0	0	1	0	1	4	0	0	1	2	0	9	17

(ウ) 相談件数について

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度実績
合 計		2	2	19	31	18	29	36	23	28	15	20	30	253	231
内 訳	施設職員からの相談	0	1	5	1	5	1	3	1	6	5	0	6	34	15
	保 護 者からの相談	0	1	11	27	10	24	26	15	20	9	17	20	180	197
	そ の 他からの相談	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	5	0
	施設への立会い等	2	0	3	3	3	3	7	3	2	1	3	4	34	19

### ＜相談支援事業所ぱれっと（障害児相談支援事業所、特定相談支援事業所）＞

- 障害児者及びご家族からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言等を行いました。
- 障害児者が福祉サービスを利用する前に、居宅等に訪問してご本人の心身や日常生活の状況等を把握し、ご家族の意向等を汲み取りながらサービス等利用計画を作成しました。

また、計画に対して一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援を行いました。福祉サービス事業所への訪問（サービス提供時モニタリング）を行い、連携に努めました。

### 【重点項目】

- 法改正に基づき、引き続き、よりきめ細かい支援を行うために、受給者証に記載されているモニタリングをもれなく実施するとともに、サービス提供時モニタリングを適宜実施していきます。

障害児者の抱える問題の解決や適正なサービス利用ができるよう、より専門的な支援を目指し、支援体制加算の対象となる専門研修の受講等により職員の資質向上を図ります。

また、市内の相談支援事業所とネットワークを構築し、情報の共有や専門性の向上を図るとともに、福祉サービス提供事業所との連携を深め、利用者サービスの向上に努めます。

### 【結果】

- 利用者数については、今年度は従来の利用者の相談の充実を図るため、新規相談については12人となっています。契約者は、749人となり、職員一人あたりの平均担当者数は、150人前後とほぼ適正数となりました。

このような状況の中、通常月モニタリングのもれのない実施と利用者家族のニーズであるサービス提供事業所での様子を把握するために、サービス提供時モニタリングによる事業所訪問を実施し、連携を密にするなど、利用者のニーズに応えるきめ細かい相談を実施することに努めました。サービス提供時モニタリングでは、4～5月は新型コロナウイルス感染症感染対策により自粛したため、6月以降から実施し150件を超え目標達成しています。モニタリングについては、新型コロナウイルス感染症感染対策として電話でのモニタリングが認められていたため、利用者の希望を確認しながら希望の方に関しては電話でのモニタリングを実施しました。このことにより移動時間が省略され効率的に実施することができ、通常月モニタリングは平成31年度664件に対し令和2年度は726件実施することができました。また、新型コロナウイルス感染症の不安が強まる中、電話対応により話を聞くことができ、安心できる環境で保護者の不安の軽減に努めることができました。

市内の相談支援事業所の意見交換会（中央・美浜意見交換会と若葉・緑意見交換会、10月以降は各区に基幹相談支援センターが発足したため美浜区及び若葉区基幹相談支援センター意見交換会）にオンラインを中心に参加し、相談事業所間での情報交換や研修を行いました。外部で学んだことや情報を全職員で共有するとともに、定期的に職員間の事例検討を行うことで、相談援助技術の向上及び職員の資質の向上を図りました。なお令和2年度は医療的ケアコーディネーター研修の中止、

強度行動障害支援者研修の延期、その他の集合研修も中止が多い中で、できる限りオンラインでの研修の受講に努めました。

ア 月別契約者数

月別	開館 日数	新規契約者数			契約解除者数			契約者数		
		障害児 相談	計画 相談	計	障害児 相談	計画 相談	計	障害児 相談	計画 相談	計
令和2年4月	21	0	0	0	6	3	9	663	111	774
5月	18	0	0	0	6	0	6	657	109	766
6月	22	3	0	3	3	1	4	655	108	763
7月	21	1	0	1	2	0	2	653	107	760
8月	20	0	0	0	3	0	3	651	107	758
9月	20	1	0	1	1	0	1	649	107	756
10月	22	2	0	2	1	0	1	649	107	756
11月	19	0	0	0	6	0	6	648	107	755
12月	20	2	0	2	5	0	5	644	107	751
令和3年1月	19	2	0	2	2	0	2	640	107	747
2月	18	0	0	0	1	1	2	639	107	746
3月	23	1	0	1	18	3	21	643	106	749
計	243	12	0	12	54	8	62	—	—	—
月平均	—	1.0	0.0	1.0	4.5	0.7	5.2	—	—	—
前年度実績	239	14	0	14	67	7	74	—	—	—
前年度月平均	—	1.2	0	1.2	5.6	0.6	6.2	—	—	—

イ 月別利用状況

月別	開館 日数	新規相談			計画書(案)作成			計画書作成		
		障害児 相談	計画 相談	計	障害児 相談	計画 相談	計	障害児 相談	計画 相談	計
令和2年4月	21	0	0	0	38	4	42	125	8	133
5月	18	0	0	0	34	2	36	62	7	69
6月	22	3	0	3	36	4	40	60	12	72
7月	21	1	0	1	54	7	61	51	6	57
8月	20	0	0	0	56	6	62	49	5	54
9月	20	1	0	1	47	4	51	41	2	43
10月	22	3	0	3	49	5	54	50	4	54
11月	19	0	0	0	56	7	63	57	6	63
12月	20	2	0	2	57	6	63	55	6	61
令和3年1月	19	2	0	2	56	7	63	52	9	61
2月	18	0	0	0	45	8	53	58	8	66
3月	23	1	0	1	115	16	131	46	8	54
計	243	13	0	13	643	76	719	706	81	787
月平均	—	1.1	0.0	1.1	53.6	6.3	59.9	58.8	6.8	65.6
前年度実績	239	14	0	14	722	71	793	804	82	886
前年度月平均	—	1.2	0.0	1.2	60.2	5.9	66.1	67	6.8	73.8

(続き)

月別	開館 日数	モニタリング報告書作成			サービス提供時モニタリング			合計		
		障害児 相談	計画 相談	計	障害児 相談	計画 相談	計	障害児 相談	計画 相談	計
令和2年4月	21	41	28	69	0	0	0	204	40	244
5月	18	72	31	103	0	0	0	168	40	208
6月	22	56	21	77	12	0	12	167	41	208
7月	21	59	8	67	13	0	13	178	26	204
8月	20	42	2	44	38	0	38	185	27	212
9月	20	40	6	46	27	0	27	156	19	175
10月	22	47	19	66	31	0	31	180	43	223
11月	19	34	10	44	11	0	11	158	27	185
12月	20	35	14	49	14	0	14	163	31	194
令和3年1月	19	31	13	44	8	1	9	149	30	179
2月	18	47	8	55	2	1	3	152	25	177
3月	23	53	9	62	0	1	1	215	34	249
計	243	557	169	726	156	3	159	2,075	383	2,458
月平均	—	46.4	14.1	60.5	13.0	0.3	13.3	172.9	31.9	204.8
前年度実績	239	547	117	664	82	44	126	2,169	314	2,483
前年度月平均	—	45.6	9.8	55.3	6.8	3.7	10.5	180.8	26.2	207

## ウ 月別職員動向

月別	開館 日数	利用者／家族,関係機関等 との相談及び調整等電話			関係機関等訪問		
		障害児 相談	計画 相談	計	障害児 相談	計画 相談	計
令和2年4月	21	758	85	843	161	18	179
5月	18	711	79	790	145	16	161
6月	22	718	80	798	299	33	332
7月	21	697	78	775	238	26	264
8月	20	729	82	811	209	23	232
9月	20	677	76	753	191	21	212
10月	22	550	61	611	216	24	240
11月	19	666	74	740	231	26	257
12月	20	682	76	758	201	22	223
令和3年1月	19	711	79	790	178	20	198
2月	18	711	79	790	176	21	197
3月	23	790	88	878	159	28	187
計	243	8,400	937	9,337	2,404	278	2,682
月平均	—	700	78.1	778	200.3	23.2	223.5
前年度実績	239	9,444	569	10,013	2,601	288	2,889
前年度月平均	—	787	47.4	834	216.8	24	240.8

## (6) 千葉市大宮学園

### <ひまわりルーム（障害児通所支援事業所）>

- 3歳から就学前の知的障害児（障害児通所給付費の支給決定を受けた児童）が日々保護者のもとから通園し、心身の健やかな発達と集団生活に適応できる能力の基礎づくりを促すとともに、保護者が主体性をもって子育てを行い豊かな日常生活が送れるよう支援しました。
- 福祉型児童発達支援センター  
日中、居宅で見守る者のいない3歳から小学校3年生までの知的障害児（千葉市地域生活支援給付費の支給決定を受けた児童）を対象に「千葉市地域生活支援事業（日中一時支援事業）」を実施しました。

### 【重点項目】

- 地域の保育所・幼稚園に移行し、健常児とともに保育を受けることが好ましい児童の保護者に対して行う移行支援プログラムの充実と保育所・幼稚園への情報交換を含めた支援を実施します。  
また、医療的ケアが必要な利用児に対し、職員研修等を通じて資質向上を図ることで、受け入れ体制を充実させます。

### 【結果】

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、毎年3歳児4歳児の移行に関心のある保護者や療育の積み重ねによりひまわりルーム以外の集団が望ましいと思われる児童の保護者を対象に、安心して地域の保育所や幼稚園に移行できるようにと開催している保護者向け勉強会が開催できませんでした。  
また、施設の社会化の一環として行っている公立保育所や幼稚園との交流保育も残念ながら中止となりました。  
勉強会や交流保育は開催できませんでした。移行支援として千葉市幼稚園協会・千葉市こども未来局幼保運営課に資料を依頼して希望保護者に配布しご説明を行ったほか、移行を希望されている保護者への情報提供や個別相談に随時応じた結果、1名が幼稚園に移行しました。今後も保育所、幼稚園との交流や情報の交換、研修の受け入れなどを積極的に行い、連携強化を図っていきます。  
医療的ケアを必要とする知的障害児の受け入れについては、秋に各区の保健福祉センター、3区の基幹相談支援センターを訪問し、医療的ケア児の受け入れ態勢や流れなどについての説明を行い周知に努めましたが、令和2年度内の入園にはつながらず、医療的ケア児の受け入れはできませんでした。  
今後は、令和3年3月に施行した「医療的ケア児受け入れガイドライン」に沿った受け入れ態勢を整え、関係機関とも連携して医療的ケア児の積極的な受け入れを行うとともに、保護者のニーズに対応できる保護者支援に努めます。

月別利用状況

月別	開所 日数	利用者（福祉型児童 発達支援センター） 定員40名		利用者 （日中一時支援） 定員1名		兄弟姉妹 預かり事業	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	21日	36	530	0	0	0	0
5月	18日	35	529	0	0	0	0
6月	22日	35	697	0	0	0	0
7月	21日	35	671	0	0	0	0
8月	20日	35	607	0	0	6	12
9月	20日	35	636	0	0	0	0
10月	22日	35	691	0	0	0	0
11月	19日	35	591	0	0	0	0
12月	20日	35	632	0	0	0	0
1月	19日	36	633	0	0	0	0
2月	18日	36	576	0	0	0	0
3月	23日	36	725	0	0	0	0
計	243日	—	7,518	—	0	—	12
月平均	20.3日	35.3	626.5	0	0	—	—
前年度実績	236日	—	7,806	—	4	—	34
前年度平均	19.7日	39.6	650.5	0.3	0.3	—	—

### ＜たけのこルーム（障害児通所支援事業所）＞

- 就学前の身体に障害のある児童が保護者とともに通園し、親子の信頼関係の形成や日常生活の基本動作訓練及び集団生活への適応訓練などを行いました。
- 保護者とともに通園する就学前の何らかの障害を持った児童（障害児通所給付費の支給決定を受けた児童）に対して、日常生活上の基本動作の指導及び集団生活への適応に向けた訓練などを行う「児童発達支援事業」を実施しました。
- 日中、居宅で見守る者のいない小学校3年生までの肢体不自由児（千葉県地域生活支援給付費の支給決定を受けた児童）を対象に「千葉県地域生活支援事業（日中一時支援事業）」を実施しました。
- たけのこルーム、ひまわりルーム及び児童発達支援事業を利用している児童に対し、専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理判定員）の評価・個別指導を行います。

### 【重点項目】

- 保護者に対する個別相談や集団保育、個別保育、行事など保育プログラムの充実を図るとともに、地域の相談支援事業所との連携を深めることで、日々の利用人数の向上に努めます。  
また、医療的ケアが必要な利用児に対し、職員研修等を通じて資質向上を図ることで、受け入れ体制を充実させます。

### 【結果】

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、療育内容や行事日程等の一部変更や縮小をせざるを得ませんでした。様々な感染予防対策を徹底した上で、日々の療育を安心・安全に行いました。  
各種行事についても、保護者の要望を受けて可能な限り中止にせず、療育の中に行事の要素を取り入れ、開催日を分散、規模を縮小する等の工夫をして保育プログラムの充実に努めました。  
また、年長・年中児の保護者を対象とした卒園児保護者による就学に向けての講演会を開催し、情報共有や個別での就学相談に応じました。  
育児のお悩みについても個別で相談に応じ、保育所を訪問して児童との関わり方などの情報交換と連携を図るなど、保護者の自宅での育児の悩みが軽減できるよう積極的に保護者支援に努めました。  
また、医療的ケアが必要な児童に対しては、摂食が難しい児童の保護者の悩みが軽減できるよう専門職による摂食指導を行いました。  
しかし、1日の平均利用人数は2.5人（前年度比49%減）と減少しました。利用人数の減少の背景には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により登園を自粛する児童が多かったことと、預かり型事業所を並行利用する児童の増加や個別訓練などを行う事業所の増加により、通所できる場が分散してきているのも要因と考えられます。今後も保護者ニーズの反映と、個々に合わせた関わりや行事を取り入れながら、利用人数増加を目指します。  
児童発達支援事業は、就労や家庭の都合、兄弟の預け先がないなどの理由により、預かり型の事業所を利用する児童が増えたことや、新型コロナウイルス感染症感染

拡大の影響により登園を自粛する児童が多かったこと等が要因となり、年間延べ人数が1,192人（前年度比23.0%減）と減少しました。

今後も、たけのこルームの特色が伝わるようリーフレットを関係機関へ配布するなどの広報に努めます。

また、個別相談を増やし、勉強会の充実を図るとともに、幼稚園や保育所などの訪問を通して地域関係機関とも連携しながら保護者が安心して子育てができるような支援に努めます。

#### 月別利用状況

月別	開所 日数	利用者(医療型児 童発達支援センター) 定員10名		利用者 (児童発達支援事 業) 定員10名		利用者 (日中一時支援) 定員1名		兄弟姉妹 預かり事業	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	21日	15	30	62	58	0	0	0	0
5月	18日	13	26	66	71	0	0	0	0
6月	22日	13	57	69	108	0	0	0	0
7月	21日	13	57	71	103	0	0	0	0
8月	20日	13	40	74	89	0	0	0	0
9月	20日	13	51	73	108	0	0	0	0
10月	22日	14	60	77	103	0	0	0	0
11月	19日	14	57	78	125	0	0	0	0
12月	20日	14	43	78	105	0	0	0	0
1月	19日	14	49	79	99	0	0	0	0
2月	18日	14	62	80	103	0	0	0	0
3月	23日	15	79	78	120	0	0	0	0
計	243日	—	611	—	1,192	—	0	—	0
月平均	20.3日	13.8	50.9	73.8	99.3	—	—	—	—
前年度実績	236日	—	1,211	—	1,548	—	0	—	63
前年度平均	19.7日	19.4	100.9	81.3	129	—	—	—	—

月別利用状況（外来）

月 別	診療状況（再来含）			訓練・評価			
	精神科	整形 外科	小児科	心 理	理学療法	作業療法	言語療法
4月	0	0	11	5	4	4	1
5月	0	0	14	11	2	7	8
6月	0	0	25	9	9	8	11
7月	0	0	22	13	8	4	6
8月	0	0	18	13	9	9	8
9月	0	1	20	8	5	5	7
10月	0	1	16	6	11	5	6
11月	0	2	9	4	10	8	6
12月	0	1	18	5	10	7	8
1月	0	2	17	4	6	12	5
2月	0	2	11	7	11	14	8
3月	0	1	24	11	11	12	9
計	0	10	205	96	96	95	83
月平均	0.0	0.8	17.1	8.0	8.0	7.9	6.9
H31実績	0	24	270	90	128	194	180
H31平均	0.0	2.0	22.5	7.5	10.7	16.2	15.0

## (7) 千葉市障害者福祉センター

障害者の各種相談・講座・機能訓練等、社会との交流の促進及びスポーツ、レクリエーションのための機会や施設を提供し、障害者の福祉の増進を図り、多様な障害者ニーズに応えました。

- 専門職による各種相談事業において利用者に対する適切な支援、助言を実施しました。
- 身体機能の維持・改善や日常生活動作・環境などの見直しを図るため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による機能訓練を行いました。また、社会適応訓練として、視覚障害者生活指導、勉強会等を行いました。
- 福祉講座ではスポーツ・レクリエーション系、創作系と多岐にわたり開催しました。また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催に向け、パラスポーツの普及・啓発を図りました。
- 地域福祉サービスとして、周辺地域自治会と連絡をとり交流を図りました。
- 障害者団体、高齢者団体が行うサークル活動等のために多目的ホール、屋外スポーツ広場、水浴訓練室、会議室等の施設の貸し出しを実施しました。

### 【重点項目】

- 利用者のニーズに対応する通年講座を増設します。また、障害者スポーツの普及に努めます。

### 【結果】

- 福祉講座では通年講座としてスポーツ・レクリエーション系、創作系と多岐にわたり企画しました。また東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催に向け、スポーツ交流会や体験会などを通じ、障害者だけでなく広く市民にパラスポーツ・障害者スポーツの普及・啓発を図る予定でした。

しかしながら、一年間を通じ新型コロナウイルス感染症予防対応で中止・変更等を余儀なくされ計画通り実施できませんでした。首都圏・県・市下感染状況の変化に伴い、その都度市と協議し感染症予防対策に厳格に取り組み、利用制限等を設けながら講座等の事業を展開しました。

ア 月別利用状況

月別	相談			医師との 面談 (人)	訓練			計 (人)
	生活-訓練- 健康-医療 (人)	住宅 改造 (人)	計 (人)		理学療法 (人)	作業療法 (人)	言語・聴 覚療法 (人)	
4月	20	0	20	0	0	0	0	0
5月	53	0	53	0	0	0	0	0
6月	40	0	40	0	0	0	0	0
7月	161	0	161	1	11	4	15	30
8月	42	0	42	2	9	6	10	25
9月	259	0	259	2	10	4	14	28
10月	262	1	263	3	8	4	19	31
11月	251	0	251	1	9	5	14	28
12月	215	1	216	3	10	4	14	28
1月	94	0	94	0	7	3	12	22
2月	110	0	110	0	8	4	12	24
3月	125	0	125	1	7	4	15	26
計	1,632	2	1,634	13	79	38	125	242
月平均	136.0	0.2	136.2	1.1	6.6	3.2	10.4	20.2
前年度実績	3,076	4	3,080	40	428	415	539	1,382
前年度平均	256.3	0.3	256.7	3.3	35.7	34.6	44.9	115.2

※4～5月緊急事態宣言休館 7月個別訓練再開 グループ訓練未実施

月別	貸出施設											人数計 (人)	福祉機器展 示コーナー 人数 (人)
	多目的ホール		屋外スポーツ広場		STT室		会議室		水浴訓練室				
	団体 (団体)	人数 (人)	団体 (団体)	人数 (人)	団体 (団体)	人数 (人)	団体 (団体)	人数 (人)	団体 (団体)	個人 (人)	個人 (人)		
4月	0	0	4	42	0	0	0	0	0	0	0	42	24
5月	0	0	3	23	0	0	1	3	0	0	0	26	0
6月	32	297	33	256	0	0	2	15	3	31	44	643	0
7月	42	474	24	177	0	0	3	14	3	34	85	784	7
8月	39	370	23	168	0	0	4	20	5	51	105	714	10
9月	37	339	31	208	0	0	7	41	4	48	82	718	29
10月	42	468	31	221	0	0	6	36	4	47	102	874	11
11月	40	508	31	215	0	0	5	39	3	35	98	895	8
12月	32	321	26	197	0	0	9	55	4	43	84	700	3
1月	8	66	4	25	0	0	7	36	0	0	0	127	2
2月	3	24	0	0	0	0	3	11	0	0	0	35	1
3月	15	151	9	59	0	0	7	36	0	0	0	246	9
計	290	3,018	219	1,591	0	0	54	306	26	289	600	5,804	104
月平均	24.2	251.5	18.3	132.6	0.0	0.0	4.5	25.5	2.2	24.1	50.0	483.7	8.7
前年度実績	551	16,291	316	3,365	146	1,158	75	808	67	1,054	1,382	24,058	2,772
前年度平均	45.9	1,357.6	26.3	280.4	12.2	96.5	6.3	67.3	5.6	87.8	115.2	2,004.8	231.0

※4～5月緊急事態宣言休館 5月宣言解除以降は利用人数等制限有り  
 1～3月緊急事態宣言 スポーツを伴う活動中止  
 ※STT室 貸出中止  
 ※展示コーナー 開館時間内扉開放を施錠して窓口受付対応にする

イ 主催事業別参加状況

① 社会適応訓練

事業名	期間	開催回数(回)	参加延人数(人)	備考
視覚障害者生活訓練	グループを個別にして実施	7	7	
バス旅行	9・3月	0	0	中止
音楽療法	6月	1	3	
ラテアート体験	7月	1	2	
住宅改造勉強会	1月	1	2	
計		10	14	
前年度実績		45	289	

※個別又は小グループで実施

② スポーツ・レクリエーション、創作的活動事業

	講座名	回数	延人数	期間	備考
スポーツ	卓球(ラージボール)入門	8	49	9月～12月	
	硬式テニス入門	8	41	9月～12月	
	バドミントン入門	4	28	9月～12月	
	アーチェリー入門	4	27	9月～12月	
	ピラティス	4	34	9月～12月	
	女性のためのハワイアンフラ	7	49	9月～12月	
	ボッチャを楽しもう	3	22	10月～12月	
	ストレッチ体操	4	28	9月～12月	
創作	書道A	14	76	7月～3月	2班編成
	書道B	14	64	7月～3月	2班編成
	編み物A	14	37	7月～3月	2班編成
	編み物B	14	60	7月～3月	2班編成
	水彩画	12	31	7月～3月	2班編成
	水墨画	12	47	7月～3月	2班編成
	鉛筆・色鉛筆デッサン	12	40	6月～3月	2班編成
	ハンドベル	7	58	9月～3月	
	パソコン入門	14	49	7月～3月	2班編成
計			740		
前年度実績			3,677		

※通年講座としてスポーツ・レクリエーション講座10種11講座、創作・教養講座10種11講座を企画しましたが、緊急事態宣言・感染予防対策等により、スポーツ・レクリエーション講座は、8種8講座、創作・教養講座7種9講座に変更して実施しました。

③ その他

事業名	期間	開催回数(回)	参加延人数(人)	備考
フェスティバル等	7・11・12月	0	0	中止
交流会・講演会	10・12月	2	27	
スポーツ体験会		0	0	中止
計		2	27	
前年度実績		16	3,972	

(8) 千葉市中央・花見川・稲毛・若葉・緑・美浜いきいきプラザ、千葉市蘇我・花見川・さつきが丘・あやめ台・大宮・都賀・越智・土気・真砂いきいきセンター及びおゆみ野ふれあい館

＜老人福祉センター事業＞

- 高齢者の日常生活における悩み事や、健康に関する相談に随時対応し、利用者の健やかな生活のための援助や健康増進、介護予防に努めました。
- 高齢者の趣味・教養・健康等を向上させるため、福祉講座を実施するとともに、同好会等の自主活動を支援しました。また、講座受講者及び同好会会員が活動の成果を発表する「いきいきプラザフェスティバル」等を開催しました。
- 加齢に伴う身体機能の低下が見られるまたは心配がある高齢者に対し、理学療法士等による機能回復訓練を実施し、機能の維持向上を図りました。
- 「いきいき利用者カード」を発行し、利用者が身分証明書を持ち歩かなくても済むよう利便性の向上を図りました。

【重点項目】

- 全いきいきプラザで介護予防の強化を図るべく、高齢者福祉講座「健康づくりで介護予防」を開講するほか、様々な事業形態で介護予防に取り組みます。
- 健康相談、生活相談の利用人数の増加の対策として、区保健福祉センターやあんしんケアセンター、生活支援コーディネーター等との連携を強化します。さらに、広報にも力を入れるとともに、相談に対応する知識、技能の向上を図ります。また、出張体操、健康測定会などを地域で積極的に開催し、併せて地域での相談会を実施します。
- 入浴の利用人数の増加のため、季節感を持たせる企画やサービス向上につながる企画を実施します。
- 同好会及び講座修了者の活動継続を支援し、利用者の増加を図ります。

【結果】

- 前年度に引き続き、令和2年度も全6区で開催を予定していた「健康づくりで介護予防講座」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館等により、開催を次年度に延期しました。その他、介護予防に関する短期教室や脳トレ、講演会等の事業につきましても計画を大幅に下回る開催数となりましたが、感染症対策を行いながら、利用者が安心して利用できる環境整に努め、開催しました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館等により、多くの事業において、感染症対策により利用制限を設け運営している状況であり、コロナ禍においても、安心して利用できる環境整備に努め、相談業務を実施しましたが、目標を下回る現状となりました。令和2年度は、感染防止の観点からも、来館せずとも電話相談も可能なことを周知することで、一定の効果を得ることができました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館等により、大幅な利用人数減となりました。開館時は人数制限や消毒等の感染症対策を行い、安心して利用できる環境整備に努めました。利用制限に伴う待ち時間の増加や露天風呂等の一部制限については、丁寧に説明しご理解いただきました。

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館等により、大幅な利用人数減となりました。感染リスクの高いとされる、カラオケ、合唱、囲碁・将棋の団体については現在も活動が制限されており、再開の目途が立たないことにより、解散や高齢施設より制限の緩い他施設等への流出が多く見受けられました。その他の団体については、感染症対策として、3密を避けた人数制限の影響による利用回数の減少などにつきましても、利用不可団体含め、丁寧に説明しご理解いただきました。

ア 月別利用状況

月別	開館 日数 (日)	利 用 者 数													
		全プラザ・センター計		中央		花見川		稲毛		若葉		緑		美浜	
		延人数 (人)	1日平均 利用者数 (人)												
2年4月	5	2,360	472	215	43.0	380	76.0	335	67.0	506	101.2	302	60.4	442	88.4
5月	5	1,313	263	115	23.0	252	50.4	247	49.4	187	37.4	143	28.6	237	47.4
6月	30	14,957	522	1,342	44.7	2,510	83.7	1,988	66.3	2,024	67.5	1,672	55.7	2,892	96.4
7月	31	17,985	612	1,587	51.2	3,052	98.5	2,383	76.9	2,299	74.2	1,911	61.6	3,550	114.5
8月	31	15,469	524	1,324	42.7	2,669	86.1	2,241	72.3	2,097	67.6	1,804	58.2	2,860	92.3
9月	30	18,245	642	1,532	51.1	2,921	97.4	2,549	85.0	2,162	72.1	1,943	64.8	3,575	119.2
10月	31	25,055	870	2,025	65.3	3,230	104.2	3,396	109.5	2,899	93.5	2,187	70.5	4,411	142.3
11月	30	25,244	897	2,048	68.3	3,382	112.7	3,320	110.7	2,812	93.7	2,617	87.2	4,472	149.1
12月	25	22,619	953	1,668	66.7	3,068	122.7	2,967	118.7	2,488	99.5	2,378	95.1	3,731	149.2
3年1月	0	0		0		0		0		0		0		0	
2月	0	0		0		0		0		0		0		0	
3月	10	6,113	610	507	50.7	946	94.6	849	84.9	681	68.1	588	58.8	864	86.4
計	228	149,360	657	12,363	54.2	22,410	100.0	20,275	88.9	18,155	79.6	15,545	68.2	27,034	118.6
前年度実績	360	619,467	1,965.6	56,162	156.0	66,230	186.0	67,031	186.2	79,526	220.9	63,617	176.7	114,191	317.2

※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及びコロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、

4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館

※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

(続き)

月別	開館 日数 (日)	利用 者 数																	
		蘇我C		花見川C		さつきが丘C		あやめ台C		大宮C		都賀C		越智C		土気C		真砂C	
		延人数 (人)	1日平均 利用者数 (人)																
2年4月	5	48	9.6	37	7.4	8	1.6	12	2.4	9	1.8	27	5.4	1	0.2	27	5.4	11	2.2
5月	5	17	3.4	44	8.8	9	1.8	6	1.2	3	0.6	22	4.4	1	0.2	22	4.4	8	1.6
6月	30	484	16.1	350	11.7	284	9.5	163	5.4	86	2.9	405	36.8	176	5.9	315	10.5	266	8.9
7月	31	545	17.6	417	13.5	370	11.9	286	9.2	148	4.8	535	48.6	186	6.0	343	11.1	373	12.0
8月	31	439	14.2	278	9.0	333	10.7	214	6.9	112	3.6	430	39.1	111	3.6	310	10.0	247	8.0
9月	30	572	19.1	477	15.9	408	13.6	319	10.6	143	4.8	589	53.5	218	7.3	381	12.7	456	15.2
10月	31	960	31.0	913	29.5	584	18.8	819	26.4	498	16.1	1,059	96.3	518	16.7	773	24.9	783	25.3
11月	30	890	29.7	917	30.6	605	20.2	808	26.9	416	13.9	959	87.2	492	16.4	728	24.3	778	25.9
12月	25	777	31.1	977	39.1	625	25.0	733	29.3	478	19.1	945	85.9	433	17.3	650	26.0	701	28.0
3年1月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
2月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
3月	10	171	17.1	271	27.1	187	18.7	192	19.2	136	13.6	197	17.9	138	13.8	188	18.8	198	19.8
計	228	4,903	21.5	4,681	20.5	3,413	15.0	3,552	15.6	2,029	8.9	5,168	22.7	2,274	10.0	3,737	16.4	3,821	16.8
前年度実績	360	24,582	68.5	34,261	95.4	19,985	55.7	18,708	52.3	10,768	30.0	20,911	290.4	14,275	39.8	25,346	70.6	20,294	56.5

機能回復訓練参加者数

月別	機能回復訓練															
	計	中央	花見川	稲毛	若葉	緑	美浜	蘇我C	花見川C	さつきが丘C	あやめ台C	大宮C	都賀C	越智C	土気C	真砂C
2年4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	824	82	97	94	87	94	82	30	34	42	34	20	29	30	35	34
11月	783	86	93	81	79	95	80	29	35	40	28	19	26	38	28	26
12月	736	81	86	65	77	95	79	30	39	29	27	17	27	33	29	22
3年1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	243	20	43	43	16	22	26	7	8	17	7	7	4	8	5	10
計	2,586	269	319	283	259	306	267	96	116	128	96	63	86	109	97	92
前年度実績	17,207	1,851	1,995	1,890	1,784	1,922	1,890	662	717	835	658	396	525	738	698	646

※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及び新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、

4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館及び前期(4月～9月)事業中止

※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

## 生活相談件数

月別	生活相談															
	計	中央	花見川	稲毛	若葉	緑	美浜	蘇我C	花見川C	さつきが丘C	あやめ台C	大宮C	都賀C	越智C	土気C	真砂C
2年4月	18	9	0	0	1	0	0	0	2	0	2	4	0	0	0	0
5月	13	3	4	0	0	1	0	0	2	0	0	2	1	0	0	0
6月	78	9	8	7	1	4	3	0	11	2	5	11	8	3	3	3
7月	76	13	11	5	2	5	3	1	2	1	14	4	6	5	1	3
8月	52	11	9	9	2	1	1	1	3	3	2	3	3	3	0	1
9月	98	29	8	7	4	2	6	0	13	2	8	5	5	3	0	6
10月	127	28	7	10	4	7	5	1	8	14	21	10	6	0	1	5
11月	93	9	7	9	8	8	5	3	10	1	4	5	3	3	13	5
12月	73	10	8	6	4	4	3	1	5	5	9	6	3	4	2	3
3年1月	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
2月	8	2	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
3月	39	3	6	4	2	0	0	2	5	6	0	6	0	4	1	0
計	678	128	68	60	29	32	26	9	61	35	65	56	35	27	21	26
前年度実績	975	137	94	65	66	47	56	72	59	87	71	22	61	17	78	43

※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及びコロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、

4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館

※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

## 健康相談件数

月別	健康相談															
	計	中央	花見川	稲毛	若葉	緑	美浜	蘇我C	花見川C	さつきが丘C	あやめ台C	大宮C	都賀C	越智C	土気C	真砂C
2年4月	451	9	266	36	30	35	10	17	25	3	1	4	3	1	9	2
5月	368	9	157	14	17	137	5	4	12	3	0	3	0	1	3	3
6月	2,397	63	386	111	162	1,033	43	62	91	17	4	36	17	176	159	37
7月	1,205	104	309	127	123	93	63	60	88	20	52	27	44	3	63	29
8月	1,117	90	205	149	142	130	62	81	95	19	9	16	35	3	62	19
9月	913	86	92	120	125	148	41	68	93	16	8	17	37	6	46	10
10月	2,310	371	121	228	277	128	52	197	143	71	97	161	187	78	146	53
11月	1,838	377	168	170	172	135	68	91	138	38	67	107	72	70	102	63
12月	1,843	350	87	147	164	144	45	87	212	106	77	115	121	71	80	37
3年1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
3月	616	104	37	54	75	63	20	7	55	18	33	33	28	29	38	22
計	13,065	1,563	1,828	1,156	1,287	2,046	409	674	952	311	355	519	544	438	708	275
前年度実績	32,660	4,354	2,265	3,344	3,747	2,302	1,979	1,972	2,285	673	1,482	2,184	1,359	1,579	1,580	1,555

※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及びコロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、

4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館

※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

浴室利用者数

月別	入 浴				
	計	花見川	稲毛	若葉	緑
2年4月	1,060	242	157	397	264
5月	498	143	84	168	103
6月	4,036	1,111	588	1,412	925
7月	4,379	1,225	634	1,472	1,048
8月	4,190	1,148	631	1,425	986
9月	4,009	1,092	612	1,349	956
10月	4,050	1,148	670	1,438	794
11月	4,569	1,230	710	1,474	1,155
12月	3,991	1,062	629	1,256	1,044
3年1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	1,167	297	175	394	301
計	31,949	8,698	4,890	10,785	7,576
前年度実績	80,047	18,931	10,213	30,429	20,474

※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及びコロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館

※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

イ 講座同好会等利用状況

		前年度計	計	中央	花見川	稲毛	若葉	緑	美浜
講座	講座数	1,664	170	17	23	16	16	15	15
	利用延回数(回)	2,639	257	27	36	25	19	25	23
	利用延人数(人)	45,903	2,624	229	473	329	155	347	256
同好会	同好会数	7,625	3,129	219	278	414	397	260	518
	利用延回数(回)	13,588	5,489	382	479	730	676	510	952
	利用延人数(人)	154,677	49,253	3,013	4,265	7,419	5,407	5,087	10,185

		蘇我C	花見川C	さつきが丘C	あやめ台C	大宮C	都賀C	越智C	土気C	真砂C
講座	講座数	6	12	7	7	8	4	7	6	11
	利用延回数(回)	10	17	11	11	8	6	13	10	16
	利用延人数(人)	83	171	76	92	65	53	111	78	106
同好会	同好会数	182	105	109	94	80	176	76	73	148
	利用延回数(回)	306	175	180	159	135	308	144	116	237
	利用延人数(人)	2,287	1,274	1,325	1,052	879	2,888	1,027	780	2,365

※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及び新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館

※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

ウ 講演会・地域交流事業開催状況

施設名	内 容	参加延人数
中央	日本史「里見氏と国府台合戦」	9
	日本史「平将門の乱」	12
	日本史「稲村ヶ崎の戦い」	14
	日本史「長尾景春の乱①」	14
	日本史「長尾景春の乱②」	16
	我が家の防災対策	5
	体のハリは心のハリ①	12
	体のハリは心のハリ②	13
	体のハリは心のハリ③	15
	ボディケアスクール①	13
	ボディケアスクール②	14
	ボディケアスクール③	9
	ボディケアスクール④	8
	合 計	

花見川	楽しく体操	31
	あんしんケアセンターについて	7
	猫背すっきり！タオル体操	32
	介護保険制度について	11
	福祉用具について	11
	体操教室「健康体操」	88
	体操教室「ヨガビリー」	86
	体操教室「健康ストレッチ」	80
	体操教室「動ける体づくり」	83
	体操教室「ふれあい体操」	89
	理学療法士と一緒に体操しよう	238
	知っておきたい養護老人ホームとは	9
	ボッチャ体験会	22
	ボール体操	31
	南先生と楽しく体操	29
	花見川0プロジェクト「血糖値が気になる方のための健康セミナー」	14
	我が家の防災対策	5
	初めての鉛筆デッサン	15
	コロナ自粛から体の機能呼び起こそう！機能回復訓練指導員が教える簡単運動セミナー	16
	ハッピーエンディングカード体験会	10
	基礎からのデッサン	11
	動ける体づくり第2弾	15
	裸足でキックとパンチ	31
	動ける体づくり第2弾	16
	夏休み映画上映会	197
	アイリスホールディングのクリスマスカード作り	5
	木の実のクリスマスリース作り	14
	紙で作るお花のお正月飾り	15
	大正琴ミニコンサート	24
	クリスマスコンサート	120
合 計	1,355	

稲毛	元気UP体操	19
	健康体操	20
	健康気功	17
	ゆる体操	18
	かんたん運動セミナー	19
	レクで脳トレ	14
	はじめてのフラダンス	16
	健康ストレッチ①	18
	健康ストレッチ②	17
	ちばし いきいき体操 (計3回)	42
	楽しく体操	18
	膝関節について	15
	音楽で若返り・ハンドベルでクリスマス	12
	ビー玉を作る万華鏡	12
	合 計	257

若葉	見た目も心も若返る「やさしいヨガ教室」	10
	真夏のわくわく体操教室～ほとばしる汗を感じませんか	9
	我が家の防災対策～地震・風水害・雷・火災～	9
	理学療法士特別運動教室(ミニ講座4回コース)	54
	認知症の正しい知識と日常生活の工夫	17
	アルパ演奏会～クリスマスには幸せな音楽を～	19
	合 計	118

緑	理学療法士による膝痛予防の体操	18
	マインドフルネス(呼吸法と瞑想)	13
	住まいの安全対策	17
	初めてのピラティス	18
	自宅でできる体幹トレーニング	17
	楽しく体を動かしましょう	15
	理学療法士の腰痛を科学する	17
	出張科学教室「テレイドスコープ」	14
	セルフコンディショニング(全3回)	47
	ピラティス講座(全3回)	37
	3B体操(全3回)	26
	合 計	239

美浜	秋の音楽会 1部	23
	秋の音楽会 2部	24
	足もみ健康教室 1部	10
	足もみ健康教室 2部	10
	クリスマス音楽会 1部	23
	クリスマス音楽会 2部	21
	合 計	111

蘇我C	講演会「元気UP体操」(全12回)	91
	講演会「我が家の防災対策」	6
	講演会「体の機能を呼び起こそう」	9
	講演会「バルーンアート講座」	9
	講演会「染花」	7
	講演会「体の張りは心の張り」	8
	講演会「レクで脳トレ」(全2回)	18
	講演会「カーネーションでプードルを作ろう」(中止)	0
	合 計	148

花見川C	気分すっきり3B体操	31
	身体が元気になる体操	25
	単発講座①～健康ストレッチ体操～	14
	単発講座②～動ける身体づくり体操～	15
	健康セミナー	18
	～高齢者のための口腔ケア～(丈夫な歯を作るためについて)	14
	「介護予防全般」～フレイル、サルコペニアについて～	19
	クリスマスコンサート	33
	認知症予防体操	15
	合 計	184

さつきが丘C	コロナに負けるな！体を動かす講演会～初めてのフラダンス～	13
	コロナに負けるな！体を動かす講演会～健康ストレッチ～	50
	コロナに負けるな！体を動かす講演会～パドル体操A～	41
	コロナに負けるな！体を動かす講演会～パドル体操B～	46
	コロナに負けるな！体を動かす講演会～骨格改善～	51
	生前相続等に関する個別相談会	2
	楽しく体操	20
	タオル体操	19
	かんたんボール体操	18
	リズムに合わせて！健幸教室	19
	ロコモティブシンドローム予防教室	11
	まへのまえ体操	25
	大人のための科学イベント～手作り発泡入浴剤～	10
	コロナ自粛から体を呼び起こそう！機能回復訓練講師が教える簡単運動セミナー	11
	第2回ボール体操	9
	初めての鉛筆デッサン～りんご～	11
	冬こそ危ない高血圧～食改善で予防しよう～	10
合 計	366	
あやめ台C	おなかの健康教室	16
	健康体操（計2回）	22
	認知症サポーター養成講座	11
	知って得する生前対策	14
	初めての太極拳（計2回）	22
	機能回復訓練講師が教える簡単運動セミナー	12
	合 計	97
大宮C	健康体操	8
	リズムに合わせて、楽しく健康体操	9
	ウイルスによって起こる病気と検査の話	9
	あんしんケアセンターの役割と介護保険について	10
	合 計	36
都賀C	コロナ自粛から体の機能呼び起こそう	11
	住まいの安全対策	8
	万華鏡みたいなテレイドスコープを作ろう	10
	いきいき終活セミナー	10
	合 計	39
越智C	秋の落語会	19
	住まいの安全対策～意外と多い家の中の危険～	9
	身体ポカポカHOT体操	5
	ヤクルト健康教室～お腹の健康	5
	膝痛を科学する	8
	ズンバ体操教室	10
	いきいき活力体操	8
	3B体操～ボール編	9
	合 計	73

土気C	スキマ体操～すきま時間で簡単ストレッチ～	55
	ハワイ気分で踊っちゃおう	8
	元気UP体操	18
	免疫力を高める気功	19
	音楽で免疫力アップ講座体験会	10
	身体ほぐし体操体験会	10
	コロナ自粛から体の機能を呼び起こそう！！機能回復訓練講師が教える簡単運動セミナー	7
	腰痛予防体操	10
	インナーマッスル・ダンス	10
	合 計	147
真砂C	小嶋先生の健康体操	13
	合 計	13
いきいきプラザ・いきいきセンター合計		3,337
前年度実績		7,215

- ※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及びコロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館  
 ※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館  
 ※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

#### エ 世代間交流開催状況

施設名	内 容	参加延人数
稲毛	講演会「知って得する生前対策」	16
	講演会「高齢者住宅の選び方とポイント」	21
	合 計	37
若葉	50歳からの人生設計 老後資金の運用と働き方	3
	50歳からの人生設計 税の基礎知識と相続税	7
	若葉いきいきプラザ杯世代間交流ゲートボール大会	55
	合 計	65
さつきが丘C	認知症になってもこれで安心！家族信託	10
	合 計	10
大宮C	大宮台保育所交流会～年少、年中、年長児と交流(1回)	46
	わくわくキャンパス(4回)	44
	合 計	90
都賀C	介護保険について	8
	合 計	8
いきいきプラザ・いきいきセンター合計		210
前年度実績		6,788

- ※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及びコロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館  
 ※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館  
 ※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

＜生きがい活動支援通所事業＞

- 要介護状態に陥ることの予防を目的に、教養講座、運動、趣味活動により、機能の維持と向上を図るとともに、高齢者同士が交流を図る機会を提供しました。

【重点項目】

- 生きがい活動支援通所事業の新規利用者を確保するため、積極的な広報活動及びあんしんケアセンターとの連携を図ります。また、新規利用者が活動に参加し、継続しやすいよう仲間づくり、趣味活動の支援を行います。

【結果】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館等により、大幅な利用人数減となりました。前期4月～9月の活動は中止となり、前期の参加予定者を後期へ振り替え実施しました。実施にあたり、感染症対策として、3密の回避や、長時間の滞在を抑止するため、昼食の時間を無くし、午前・午後2班制で実施しました。半期のみの実施のため、新規利用者は90人でした。

月別利用状況

月別	開館日数 (日)	利用者数													
		全プラザ・センター計		中央		花見川		稲毛		若葉		緑		美浜	
		延人数 (人)	1日平均利用者数 (人)												
2年4月	0	0				0		0		0		0		0	
5月	0	0			0		0		0		0		0		
6月	0	0			0		0		0		0		0		
7月	0	0			0		0		0		0		0		
8月	0	0			0		0		0		0		0		
9月	0	0			0		0		0		0		0		
10月	23	4,070	176.8	251	10.9	211	9.2	306	13.3	299	13.0	217	9.4	362	15.7
11月	19	3,308	174.1	217	11.4	161	8.5	238	12.5	244	12.8	164	8.6	289	15.2
12月	19	3,281	172.7	225	11.8	177	9.3	236	12.4	237	12.5	175	9.2	284	14.9
3年1月	0	0		0		0		0		0		0		0	
2月	0	0		0		0		0		0		0		0	
3月	7	1,104	157.7	76	10.9	60	8.6	85	12.1	82	11.7	62	8.9	85	12.1
計	68	11,763	173.3	769	11.3	609	9.0	865	12.7	862	12.7	618	9.1	1,020	15.0
前年度実績	248	41,797	236.2	2,882	11.6	2,054	8.3	2,956	11.9	2,957	11.9	2,346	9.5	3,513	14.2

※全プラザ・センター：緊急事態宣言の発出及び新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、

4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館及び前期(4月～9月)事業中止

※花見川いきいきプラザ：令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター：令和3年3月25日設備点検のため休館

(続き)

月別	開館日数 (日)	利用者数																	
		蘇我C		花見川C		さつきが丘C		あやめ台C		大宮C		都賀C		越智C		土気C		真砂C	
		延人数	1日平均利用者数	延人数	1日平均利用者数	延人数	1日平均利用者数	延人数	1日平均利用者数	延人数	1日平均利用者数	延人数	1日平均利用者数	延人数	1日平均利用者数	延人数	1日平均利用者数	延人数	1日平均利用者数
2年4月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
5月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
6月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
7月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
8月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
9月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
10月	23	281	12.2	341	14.8	225	9.8	299	13.0	238	10.3	367	16.0	140	6.1	272	11.8	261	11.3
11月	19	210	11.1	277	14.6	196	10.3	248	13.1	198	10.4	304	16.0	108	5.7	223	11.7	231	12.2
12月	19	212	11.2	279	14.7	206	10.8	245	12.9	186	9.8	294	15.5	100	5.3	214	11.3	211	11.1
3年1月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
2月	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
3月	7	66	9.4	103	14.7	73	10.4	78	11.1	63	9.0	77	11.0	39	5.6	86	12.3	69	9.9
計	68	769	11.3	1,000	14.7	700	10.3	870	13.0	685	10.1	1,042	15.3	387	5.7	795	11.7	772	11.4
前年度実績	248	2,781	11.2	3,289	13.3	2,308	9.3	2,888	11.7	2,712	10.9	3,918	83.4	1,525	6.1	2,868	11.6	2,800	11.3

＜地域福祉サービス事業＞

- 自宅に閉じこもりがちな地域の高齢者に対し、要望に応じて自宅や地域の集会所等に出張し「訪問健康生活相談」を行い、健康増進に向けて支援しました。
- 地域の高齢の方に対し、健康作りを目的として地域の集会所等で「出張体操」、プラザ及びセンターにて「体操教室」を実施し地域福祉の増進に努めました。

ア 訪問健康生活相談実施状況

施設名	主な相談内容	延人数
中央	体調不良による健康チェック	1
緑	骨密度測定、結果説明、健康相談 等	15
美浜	骨密度、血圧、生活習慣病、肩・腰の痛み	136
花見川C	骨折後の症状の確認、体調管理に関する相談	2
大宮C	・「腸内環境を整えて、免疫力アップ」の講話	10
都賀C	・血圧、脈拍等について ・生活習慣病予防について ・腰痛・膝痛について ・日常の運動量について	26
越智C	疾病相談、介護保険、子関節痛、血圧について	3
真砂C	骨密度測定での健康相談	19
いきいきプラザ・いきいきセンター合計		212
前年度実績		1,611

イ 出張体操開催状況

施設名	開催場所	回数(回)	参加延人数(人)
中央	旭町自治会館、星久喜町南部自治会館、 新千葉3丁目自治会館(全中止)	9	52
花見川	さつきが丘団地第2丁目集会所	1	13
若葉	桜木公民館	1	13
緑	おゆみ野ふれあい館	1	7
美浜	高浜6丁目、高洲第1団地分譲集会所、高洲第1団地 第1集会所、マリンピアイベント会場、磯辺西住宅集会所	19	239
蘇我C	新宿公民館	4	49
さつきが丘C	センター集会室、教養娯楽室	2	22
あやめ台C	あやめ台3街区管理事務所	1	20
	六方町自治会館	1	10
大宮C	桜木公民館	1	10
都賀C	若松台3丁目	3	26
越智C	地域ボランティア団体「おおかぶ会」サロン、おゆみ野 ふれあい館、、誉田貯筋クラブ	8	74
土気C	サンヴェール千葉サザンヒルズ集会室	1	8
真砂C	海浜検見川県営住宅	1	66
いきいきプラザ・いきいきセンター合計		53	609
		前年度実績	5,022

ウ 体操教室開催状況

施設名	内 容	回数(回)	参加延人数(人)
中央	中央いきいき体操	7	81
花見川	花見川プラザいきいき体操	7	99
稲毛	稲毛いきいき体操	8	140
	稲毛自主体操	4	56
若葉	若葉いきいき体操	5	38
緑	緑いきいき体操	5	34
美浜	美浜いきいき体操	12	167
蘇我C	蘇我いきいき体操	14	85
	シニアリーダー体操	24	167
	100歳体操	32	185
花見川C	花見川センターいきいき体操	7	64
さつきが丘C	さつきが丘いきいき体操	19	187
	100歳体操	42	679
あやめ台C	あやめ台いきいき体操	22	196
	あやめ台自主体操	63	626
大宮C	大宮いきいき体操	6	21
都賀C	都賀いきいき体操	4	19
越智C	越智いきいき体操	5	25
	ハッスル!脳トレ教室	7	68
土気C	土気いきいき体操	13	113
真砂C	真砂いきいき体操	6	38
いきいきプラザ・いきいきセンター合計		312	3,088
		前年度実績	15,212

エ 健康測定会

施設名	内 容	回数(回)	参加延人数(人)
中央	健康フェスティバル	1	22
	骨密度測定会・脳年齢測定会	1	7
花見川P	健康フェスティバル	1	71
	脳年齢・血管年齢・骨密度測定会	2	125
稲毛	健康測定会	1	59
若葉	骨密度測定会	1	38
緑	健康測定会	1	41
	健康増進事業(緑区健康課共催)	1	12
蘇我C	健康フェスティバル	1	26
花見川C	健康フェスティバル	1	89
さつきが丘	健康フェスティバル	1	61
	脳年齢測定週間	1	24
	血管年齢測定週間	1	101
あやめ台C	健康測定会	2	80
	健康フェスティバル	1	34
都賀C	健康チェック「骨密度測定」	2	57
越智C	健康測定会	1	21
	血管年齢測定(大木戸サロン)	1	16
土気C	脳年齢測定会	1	18
いきいきプラザ・いきいきセンター合計		22	902
		前年度実績	8,866

オ その他自主事業

施設名	内 容	回数(回)	参加延人数(人)
緑	冬の落語会	1	23
あやめ台C	あやめ台いきいき寄席～笑う門には福来る～	1	18
	ラジオ体操&ボッチャ交流会	5	51
	音楽で若返り ハンドベルdeクリスマス	1	12
大宮C	ボッチャ大会	1	44
越智	新春寄席「越智で初笑い」	1	25
土気C	ハーブのミニコンサート	1	12
いきいきプラザ・いきいきセンター合計		11	185
		前年度実績	2,051

※全プラザ・センター:緊急事態宣言の発出及びコロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館

※花見川いきいきプラザ:令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター:令和3年3月25日設備点検のため休館

<おゆみ野ふれあい館>

- 高齢者の自主的な活動を支援する場を提供し、高齢者活動支援事業を行いました。

月別利用状況

月別	開館 日数 (日)	利用者数	
		延人数 (人)	1日平均 利用者数 (人)
2年4月	5	19	3.8
5月	5	14	2.8
6月	30	242	8.1
7月	31	326	10.5
8月	31	288	9.3
9月	30	289	9.6
10月	31	345	11.1
11月	30	341	11.4
12月	25	288	11.5
3年1月	0	0	0.0
2月	0	0	0.0
3月	10	45	4.5
合計	228	2,197	9.6
前年度実績	359	10,254	28.6

※全プラザ・センター:緊急事態宣言の発出及びコロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月4日～5日、4月8日～5月26日、12月26日～3月21日休館

※花見川いきいきプラザ:令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

※都賀いきいきセンター:令和3年3月25日設備点検のため休館

## (9) 千葉市中央・花見川・美浜いきいきプラザ内デイサービスセンター

### ○ 通所介護

要介護認定を受けた在宅の高齢者に対し、介護や個別機能訓練・口腔機能向上などのサービスを提供し、要介護状態の悪化の防止、心身機能の維持改善に努めるとともに、家族の介護負担の軽減を図ります。

### ○ 介護予防通所介護、通所介護相当サービス

要支援認定を受けた在宅の高齢者に対し、日常生活上の支援などの共通サービス（入浴・排せつ・食事等）と必要に応じ一人ひとりの目標に合わせた、運動器機能向上・口腔機能向上・アクティビティなどの選択的サービスを提供し、介護予防と自立支援の観点から、心身機能の維持・向上を目指した支援を行います。

## 【重点項目】

- 利用者満足度を向上させ、地域のケアマネジャー等との連携を強化することで、新規の利用につなげ、施設利用率の向上を図ります。
- 働きやすい職場環境の維持と安定的な雇用を図ります。また、現在導入している介護保険外サービスをより定着させ、利用者の利便性向上と安定した収支を維持します。

## 【結果】

- 利用者のニーズを反映させた行事や多種多様なレクリエーションを行ってまいりましたが、1日あたりの平均利用者数が77.9人（1施設あたり25.9人）となり、3施設全体で前年度比2.4人の減少となりました。また、新規利用者につきましては、あんしんケアセンターや地域のケア会議等での働きかけなど、施設の認知度向上に努めた結果、3施設全体で91人の新規利用がありました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用を控えるなどのキャンセルや契約の解除等が相次ぎ、3施設全体で前年度比2.4%の稼働率減少となりましたが、国の感染症に係る施策による人員基準等の臨時的取扱いとして、通常の居宅サービス計画上の報酬区分より2区分上位の報酬区分にて算出が可能となったことや慰労金等収入により約1,800万円増収となりました。支出は慰労金（県・市）や新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金などにより、3施設全体で前年度比1,100万円の増となり、収支差額は3施設全体で657万円のプラスでした。

ア 通所介護月別利用状況

月別	開館 日数	中央								花見川								美浜								延利用者 数合計
		送迎	食事	入浴	個別機能 訓練Ⅱ	若年性 認知症	栄養改善	口腔機能	延利用者 数	送迎	食事	入浴	個別機能 訓練Ⅱ	若年性 認知症	栄養改善	口腔機能	延利用者 数	送迎	食事	入浴	個別機能 訓練Ⅱ	若年性 認知症	栄養改善	口腔機能	延利用者 数	
(日)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
2年4月	26	1,036	512	470	94	0	0	5	521	1,036	522	444	90	0	0	0	525	1,158	577	483	35	0	0	0	586	1,632
5月	27	1,033	512	468	91	0	0	9	520	1,031	522	431	181	0	0	0	525	1,180	592	497	55	0	0	0	601	1,646
6月	25	1,125	558	503	99	0	0	8	564	1,209	610	546	180	0	0	0	615	1,243	624	505	63	0	0	0	633	1,812
7月	27	1,106	549	483	98	0	0	6	557	1,244	622	544	212	0	0	0	626	1,324	668	525	77	0	0	0	676	1,859
8月	27	1,100	545	485	118	0	0	7	554	1,206	602	526	127	0	0	0	605	1,284	643	516	86	0	0	0	654	1,813
9月	25	1,140	564	503	125	0	0	7	573	1,160	577	504	186	0	0	0	582	1,294	651	524	94	0	0	0	659	1,814
10月	26	606	600	538	132	0	0	7	606	1,128	563	486	211	0	0	0	567	1,271	639	525	69	0	0	0	648	1,821
11月	26	1,092	542	497	130	0	0	6	551	1,102	549	483	182	0	0	0	553	1,185	593	470	65	0	0	0	602	1,706
12月	24	1,048	524	476	120	0	0	4	532	1,074	539	451	193	0	0	0	543	1,086	546	423	64	0	0	0	554	1,629
3年1月	24	1,025	509	451	121	0	0	5	517	1,062	539	438	224	0	0	0	539	1,028	521	347	76	0	0	0	526	1,582
2月	25	1,043	518	468	117	0	0	8	526	935	475	387	96	0	0	0	475	1,126	566	447	105	0	0	0	573	1,574
3月	26	1,108	551	506	131	0	0	5	560	1,196	605	502	120	0	0	0	605	1,349	673	540	161	0	0	0	683	1,848
計	308	12,462	6,484	5,848	1,376	0	0	77	6,581	13,383	6,725	5,742	2,002	0	0	0	6,760	14,528	7,293	5,802	950	0	0	0	7,395	20,736
1日平均	—	40.5	21.1	19.0	4.5	0.0	0.0	0.3	21.4	43.9	22.0	18.8	6.6	0.0	0.0	0.0	22.2	47.2	23.7	18.8	3.1	0.0	0.0	0.0	24.0	22.5
前年度実績	308	13,141	6,515	5,643	770	0	0	63	6,610	13,018	6,634	5,885	1,675	0	0	0	6,778	14,708	7,599	6,126	286	0	0	0	7,702	21,090
前年度平均	—	42.7	21.2	18.3	2.5	0.0	0.0	0.2	21.5	42.7	21.8	19.3	5.5	0.0	0.0	0.0	22.2	47.8	24.7	19.9	0.9	0.0	0.0	0.0	25.0	22.9

※送迎は片道を1回とする。

※花見川いきいきプラザ: 令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

イ 介護予防通所介護・通所介護相当サービス月別利用状況

月別	開館 日数	中央					花見川					美浜					延 用 者 数 合 計
		送 迎	食 事	入 浴	運 動 器 機 能 向 上	延 利 用 人 数	送 迎	食 事	入 浴	運 動 器 機 能 向 上	延 利 用 人 数	送 迎	食 事	入 浴	運 動 器 機 能 向 上	延 利 用 人 数	
	(日)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
2年4月	26	134	67	30	31	67	106	53	40	24	53	199	96	69	92	100	220
5月	27	118	59	31	20	59	86	43	36	30	43	226	109	73	108	113	215
6月	25	128	64	31	23	64	152	76	60	48	76	269	130	89	132	135	275
7月	27	150	75	38	29	75	172	86	65	58	86	249	121	91	116	125	286
8月	27	158	79	41	31	79	182	91	65	43	91	246	119	88	109	123	293
9月	25	146	73	35	29	73	208	104	73	74	104	231	111	80	108	116	293
10月	26	142	71	32	29	71	200	100	74	79	100	255	126	97	118	128	299
11月	26	124	62	32	22	62	202	101	78	69	101	221	107	77	100	111	274
12月	24	126	63	32	24	63	184	92	68	69	92	184	88	64	90	92	247
3年1月	24	132	66	33	26	66	174	87	65	83	87	189	91	56	89	95	248
2月	25	122	61	28	29	61	172	86	66	41	86	198	95	74	91	99	246
3月	26	126	63	30	28	63	230	115	89	52	115	224	108	84	109	112	290
計	308	1,606	803	393	321	803	2,068	1,034	779	670	1,034	2,691	1,301	942	1,262	1,349	3,186
1日平均	—	5.2	2.6	1.3	1.0	2.6	6.8	3.4	2.6	2.2	3.4	8.7	4.2	3.1	4.1	4.4	3.5
前年度実績	308	2,256	1,126	603	442	1,128	1,717	859	682	618	860	3,149	1,527	1,213	1,448	1,577	3,565
前年度平均	—	7.3	3.7	2.0	1.4	3.7	5.6	2.8	2.2	2.0	2.8	10.2	5.0	3.9	4.7	5.1	3.9

※送迎は片道を1回とする。

※花見川いきいきプラザ: 令和3年2月7日～10日設備点検のため休館

ウ 介護度、利用時間別利用状況

区分		中央	花見川	美浜	計
要介護1	3時間未満 (人)	0	1	2	3
	3時間以上4時間未満 (人)	3	1	2	6
	4時間以上5時間未満 (人)	2	3	11	16
	5時間以上6時間未満 (人)	529	528	1,632	2,689
	6時間以上7時間未満 (人)	1,034	1,631	1,802	4,467
	7時間以上8時間未満 (人)	294	957	0	1,251
	小計 (人)	1,862	3,121	3,449	8,432
要介護2	3時間未満 (人)	2	0	0	2
	3時間以上4時間未満 (人)	6	0	0	6
	4時間以上5時間未満 (人)	3	2	1	6
	5時間以上6時間未満 (人)	860	133	541	1,534
	6時間以上7時間未満 (人)	997	606	879	2,482
	7時間以上8時間未満 (人)	144	312	0	456
	小計 (人)	2,012	1,053	1,421	4,486
要介護3	3時間未満 (人)	0	1	3	4
	3時間以上4時間未満 (人)	86	2	0	88
	4時間以上5時間未満 (人)	3	1	15	19
	5時間以上6時間未満 (人)	507	382	131	1,020
	6時間以上7時間未満 (人)	417	705	748	1,870
	7時間以上8時間未満 (人)	225	687	0	912
	小計 (人)	1,238	1,778	897	3,913
要介護4	3時間未満 (人)	0	0	98	98
	3時間以上4時間未満 (人)	0	0	0	0
	4時間以上5時間未満 (人)	2	1	38	41
	5時間以上6時間未満 (人)	101	269	271	641
	6時間以上7時間未満 (人)	392	64	338	794
	7時間以上8時間未満 (人)	0	78	0	78
	小計 (人)	495	412	745	1,652
要介護5	3時間未満 (人)	1	0	0	1
	3時間以上4時間未満 (人)	0	0	2	2
	4時間以上5時間未満 (人)	3	1	21	25
	5時間以上6時間未満 (人)	255	171	351	777
	6時間以上7時間未満 (人)	622	185	496	1,303
	7時間以上8時間未満 (人)	93	39	13	145
	小計 (人)	974	396	883	2,253
通所介護計 (人)		6,581	6,760	7,395	20,736
要支援1 (人)		109	352	370	831
要支援2 (人)		694	682	979	2,355
予防介護・総合計 (人)		803	1,034	1,349	3,186
延利用者数合計 (人)		7,384	7,794	8,744	23,922

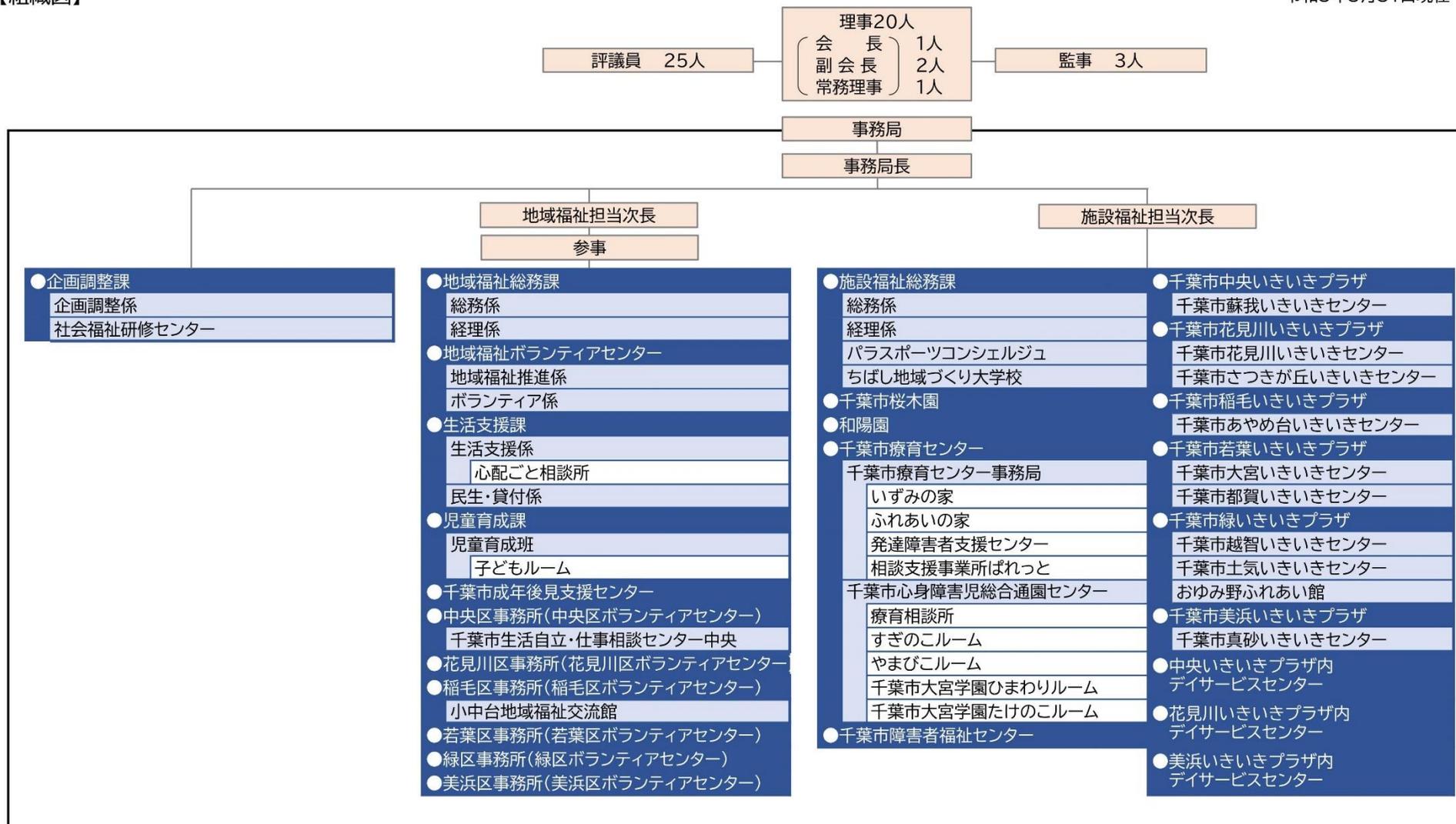
※花見川いきいきプラザ: 令和3年2月7日～

10日設備点検のため休館

# 関連資料

【組織図】

令和3年3月31日現在







社会福祉  
法人

# 千葉県社会福祉協議会

〒260-0844

千葉県中央区千葉寺町1208-2

千葉県ハーモニープラザ3階

TEL: 043-209-8884

FAX: 043-312-2442

E-Mail: [info@chiba-shakyo.jp](mailto:info@chiba-shakyo.jp)